

金城学院大学学則（案）

（1949年2月21日認可）

2022年4月1日 施行

第1章 総則

（目的）

第1条 本学は、福音主義のキリスト教に基づき、学校教育法にのっとり、女性に広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、もって真理と正義を愛し、世界の平和と人類の福祉に貢献する人物を養成することを目的とする。

（自己評価）

第2条 本学は、前条の目的を達成するため、教育研究活動の点検及び評価を行う。

2 前項の点検及び評価の組織及び方法は、これを別に定める。

（名称）

第3条 本学は、金城学院大学と称する。

（所在地）

第4条 本学の所在地は、名古屋市守山区大森二丁目1723番地とする。

（学部・学科）

第5条 本学に、次の学部、学科及び専攻を置く。

文学部	日本語日本文化学科 英語英米文化学科 外国語コミュニケーション学科 音楽芸術学科
生活環境学部	生活マネジメント学科 環境デザイン学科 食環境栄養学科
国際情報学部	国際情報学科 グローバルスタディーズコース メディアスタディーズコース
人間科学部	現代子ども教育学科 多元心理学科 コミュニティ福祉学科
薬学部	薬学科
看護学部	看護学科

（教育研究上の目的）

第5条の2 学部及び学科ごとの教育研究上の目的は、別表1のとおりとする。

（修業年限及び在学年限）

第6条 本学の修業年限は、4年とする。ただし、薬学部薬学科は、6年とする。

2 在学年限は、8年を越えることができない。ただし、薬学部薬学科は、12年とする。

（学生定員）

第7条 本学各学部各学科の定員は、次のとおりとする。

学部学科名		入学定員	編入学定員	収容定員
文学部	日本語日本文化学科	70名		280名
	英語英米文化学科	90名		360名
	外国語コミュニケーション学科	80名		320名
	音楽芸術学科	45名		180名
	計	285名		1,140名
生活環境学部	生活マネジメント学科	70名		280名
	環境デザイン学科	80名		320名
	食環境栄養学科	80名		320名
	計	230名		920名
		(1年次)	(3年次)	
国際情報学部	国際情報学科			
	グローバルスタディーズコース	85名	5名	350名
	メディアスタディーズコース	85名	5名	350名
	計	170名	10名	700名
人間科学部	現代子ども教育学科	120名	5名	490名
	多元心理学科	110名	5名	450名
	コミュニティ福祉学科	75名	5名	310名
	計	305名	15名	1,250名
薬学部	薬学科	150名		900名
	計	150名		900名
看護学部	看護学科	100名		400名
	計	100名		400名
	総計	1,240名	25名	5,310名

第2章 学年、学期及び休業日

(学年、学期及び1年間の授業等の期間)

第8条 本学の学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

2 学年は、次の2学期に分ける。

前期 4月1日から9月15日まで

後期 9月16日から翌年3月31日まで

3 1年間の授業等を行う期間は、35週間にわたることを原則とする。

(休業日)

第9条 休業日は、次のとおりとする。

(1) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日

(2) 日曜日

(3) 学院創立記念日(10月15日)

(4) 夏期休業日 8月1日から9月15日まで

(5) 冬期休業日 12月25日から翌年1月10日まで

(6) 学年末休業日 3月20日から3月31日まで

- 2 学長は、必要がある場合、第1項に定める休業日を変更することができる。
- 3 第1項に定めるもののほか、学長は臨時の休業日を定めることができる。

第3章 授業科目、単位数及び履修方法

(授業科目の区分)

第10条 授業科目は、共通教育科目、専門教育科目及び各教科の指導法・教育の基礎的理解に関する科目等に分ける。

- 2 前項に規定するもののほか、外国人である留学生（以下「外国人留学生」という。）に対して日本語科目及び日本事情に関する科目を開設する。
- 3 外国人留学生以外の学生で、外国において相当の期間、外国における教育を受けた者の教育について、本学が必要と認める場合には、前項を準用する。

(授業科目の科目名及び単位数)

第11条 授業科目の科目名及び単位数は、別表2のとおりとする。

(必修科目及び選択科目)

第12条 授業科目は、必修又は選択科目のいずれかであるものとする。

- 2 授業科目が必修であるか、選択であるかは、これを別に定める。

(副専攻)

第12条の2 本学に、副専攻を置くことができる。

- 2 副専攻に関して必要な事項は、これを別に定める。

(履修方法)

第13条 履修方法は、これを別に定める。

(卒業に必要な最低修得単位数)

第14条 卒業に必要な最低修得単位数は、別表3のとおりとする。

(他大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第15条 教育上有益と認めるときは、学生が本学の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことがある。

- 2 前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。
- 3 前2項の規定の施行については、これを別に定める。

(大学以外の教育施設等における学修)

第16条 教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を与えることがある。

- 2 前項により与えることのできる単位数は、前条第1項及び第2項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。
- 3 前2項の規定の施行については、これを別に定める。

(入学前の既修得単位等の認定)

第17条 教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得したものを含む。）を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすこと

がある。

- 2 教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を与えることがある。
- 3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第15条第1項及び第2項並びに前条第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。
- 4 前3項の規定の施行については、これを別に定める。

(単位計算方法)

第18条 授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの授業をもって1単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの授業をもって1単位とする。ただし、文学部音楽芸術学科における個人指導による実技の授業については、5時間から8時間の授業をもって1単位とする。

- 2 前項の規定にかかわらず卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、教授会の議を経て、単位数を定めるものとする。

(教育職員免許状)

第19条 教育職員免許状の授与を受けようとする者は、教育職員免許法及び同関係諸法令に定められた単位を修得するものとする。

- 2 本学において取得できる教育職員免許状は、次のとおりとする。

区	分	免許状の種類	教科
文学部	日本語日本文化学科	高等学校教諭1種免許状	国語
		高等学校教諭1種免許状 中学校教諭1種免許状	書道 国語
	英語英米文化学科	高等学校教諭1種免許状 中学校教諭1種免許状	外国語(英語) 外国語(英語)
	外国語コミュニケーション学科	高等学校教諭1種免許状 中学校教諭1種免許状	外国語(英語) 外国語(英語)
	音楽芸術学科	高等学校教諭1種免許状 中学校教諭1種免許状	音楽 音楽
生活環境学部	生活マネジメント学科	高等学校教諭1種免許状	家庭
		高等学校教諭1種免許状 中学校教諭1種免許状	情報 家庭
	環境デザイン学科	高等学校教諭1種免許状 中学校教諭1種免許状	家庭 家庭
	食環境栄養学科	高等学校教諭1種免許状 中学校教諭1種免許状 栄養教諭1種免許状	家庭 家庭

国際情報学部	国際情報学科 グローバルスタディーズコース	高等学校教諭1種免許状 高等学校教諭1種免許状 中学校教諭1種免許状	地理歴史 公民社会 情報
	国際情報学科 メディアスタディーズコース	高等学校教諭1種免許状	情報
人間科学部	現代子ども教育学科	中学校教諭1種免許状 小学校教諭1種免許状 幼稚園教諭1種免許状	外国語（英語）
	多元心理学科	高等学校教諭1種免許状 中学校教諭1種免許状	公民社会
	コミュニティ福祉学科	高等学校教諭1種免許状	福祉
薬学部	薬学科	高等学校教諭1種免許状 中学校教諭1種免許状	理科 理科

3 前項の教育職員免許状を取得するための科目の履修方法は、これを別に定める。

（博物館学芸員資格）

第20条 博物館学芸員の資格を取得しようとする者は、別に定める授業科目をあわせて履修するものとする。

（社会福祉士受験資格）

第21条 社会福祉士の受験資格を取得しようとする者は、別に定める授業科目をあわせて履修するものとする。

（図書館司書資格）

第22条 図書館司書の資格を取得しようとする者は、別に定める授業科目をあわせて履修するものとする。

（司書教諭資格）

第23条 司書教諭の資格を取得しようとする者は、別に定める授業科目をあわせて履修するものとする。

（二級建築士試験及び木造建築士試験の受験資格）

第23条の2 二級建築士試験及び木造建築士試験の受験資格を取得しようとする者は、別に定める授業科目をあわせて履修するものとする。

（管理栄養士受験資格及び栄養士免許）

第24条 管理栄養士受験資格及び栄養士免許証授与の所要資格を取得しようとする者は、別表4に示す授業科目を履修しなければならない。

2 管理栄養士国家試験受験及び栄養士免許申請に関する単位履修証明書は、別表5のとおりとする。

（食品衛生監視員資格）

第25条 食品衛生監視員の資格を取得しようとする者は、別に定める授業科目をあわせて履修するものとする。

（食品衛生管理者資格）

第26条 食品衛生管理者の資格を取得しようとする者は、別に定める授業科目をあわせて

履修するものとする。

(保育士資格)

第27条 保育士の資格を取得しようとする者は、別に定める授業科目をあわせて履修するものとする。

(精神保健福祉士受験資格)

第28条 精神保健福祉士受験資格を取得しようとする者は、別に定める授業科目をあわせて履修するものとする。

(公認心理師受験資格)

第28条の2 公認心理師の受験資格を取得しようとする者は、別に定める授業科目をあわせて履修するものとする。

(授業科目の配当及び授業時間数)

第29条 毎学年における科目の配当及び授業時間数は、教授会がこれを定める。

(開講科目・講義題目等)

第30条 毎学年の始めに、その学年に教授する科目の種類、講義題目、授業時間数、授業担当者を公示する。ただし、臨時講義については、教授会で随時これを定める。

(履修届)

第31条 学生は、毎学期の指定期限までに、履修する科目を選定し、届け出なければならない。

第4章 入学、再入学、退学、休学、編入学、転学、 留学、賞罰及び除籍

(入学の時期)

第32条 入学の期日は、学年の始めとする。

(入学資格)

第33条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する女性でなければならない。

- (1) 高等学校を卒業した者若しくは通常の課程による12年の学校教育を修了した者
(通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。)
- (2) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で
文部科学大臣の指定した者
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外
教育施設の当該課程を修了した者
- (4) 文部科学大臣の指定した者
- (5) 大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)により文部科学大臣の行う
大学入学資格検定に合格した者
- (6) その他相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本
学において認められた者

(入学の許可)

第34条 本学に入学を許可される者は、所定の入学試験に合格した者に限る。

(再入学)

第35条 正当なる理由により退学した者が、再入学を志願したときは、選考の上これを許可することがある。

2 前項に定める再入学に関する規程は、これを別に定める。

(入学出願の手続き)

第36条 本学への入学を志願する者は、次の書類に別記に定める検定料を添えて、所定の期日までに願出しなければならない。

(1) 本学所定の入学願書

(2) 卒業又は卒業見込みに関する当該学校長の証明書

(3) 在学中の当該学校長の調査書

(入学の手続き)

第37条 入学を許可された者は、本学所定の用紙に記入した、保証人連署の誓約書及び住民票に別記に定める入学金及びその他の所定の学納金を添えて、指定の期日までに提出しなければならない。

(保証人)

第38条 保証人は、独立の生計を営む満25歳以上の者で、確実に保証人の責務を履行し得る者でなければならない。

2 学長が不適当と認めた場合には、その変更を命ずることがある。

3 保証人が死亡又はその他の理由でその責務を果し得ないときは、新たに保証人を選定して、直ちに届け出なければならない。

4 保証人が転居した場合又は保証人を変更した場合は、直ちにその旨を届け出なければならない。

(退学)

第39条 退学しようとする者は、その理由を付して、保証人連署で願出しなければならない。

(休学)

第40条 病気又はその他の理由で引続き2カ月以上登校困難な者は、あらかじめその理由を付して、学長に願出で、その許可を得て休学することができる。ただし、入学初年次の前期については、その理由が病気又は留学等の場合を除き休学は許可されない。

2 休学は、1年以上にわたることができない。ただし、特別の事情のある者は、引続き許可することがある。

3 休学期間は通算して4年（薬学部薬学科においては6年）を超えることができない。

4 休学期間は、在学年数に通算しない。

(編入学)

第41条 次の各号の一に該当する者が本学への編入学を志願するときは、選考の上、相当年次に入学を許可することがある。

(1) 大学を卒業した者

(2) 大学に2年以上在学して62単位以上を修得した者

(3) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者

(4) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者（ただし、学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有するものに

限る。)

(5) 高等学校の専攻科の課程(ただし、修業年限が2年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者(ただし、学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。)

2 前項各号の定めにかかわらず、薬学部への編入学を志願できるのは、薬学部又は薬学部と同等のカリキュラム内容を持つ学部(以下「学部」という)に所属し、3年以上在学した者とする。

3 編入学者の入学以前の既修得単位の認定は、当該学部教授会においてこれを行う。

(転学)

第42条 他の大学に転学を志願する者は、あらかじめその理由を付して学長に願い出て、その許可を得なければならない。

(転学部・転学科)

第43条 本学学生が、他の学部又は他の学科に、転学部又は転学科を志願したときは、選考の上これを許可することがある。

2 前項に定める転学部・転学科に関する規程は、これを別に定める。

(留学)

第44条 国内外の大学又は短期大学への留学を志願する者は、学長に願い出て、その許可を得て留学することができる。

2 前項による留学の期間は原則として1年以内とする。

3 前項の留学期間は在学年数に算入する。

4 前3項による留学に関する規程は、これを別に定める。

(賞罰)

第45条 他の学生の模範となる学生があったときは、これを表彰することがある。

第46条 本学の規則命令にそむき又は学生の本分に反する行為があったときは、その学生を懲戒する。

2 懲戒は訓告、停学及び退学とする。

第47条 次の各号の一に該当する者には、退学を命ずることがある。

(1) 性行不良で、改善の見込みがないと認められた者

(2) 学力劣等で、成業の見込みがないと認められた者

(3) 正当な理由がなくて出席常ならない者

(4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した行為があった者

(除籍)

第48条 次の各号の一に該当する者は、除籍することがある。

(1) 第6条に定める在学年限を超えた者

(2) 第40条第2項に定める休学の期間を超えてなお復学できない者

(3) 授業料及びその他の所定の学納金の納付を怠り、督促してもなお納付しない者

(4) 長期間にわたって行方不明の者

(5) 在学中に死亡した者

(学生身分に関する決裁)

第49条 入学、退学、休学、転学、賞罰及び除籍は、教授会の議を経て学長がこれを行う。

第5章 試験、卒業及び学位

(試験)

第50条 所定の科目の履修者に対して、試験を行う。試験は、筆記試験のほか、レポート、口頭試問等で行うことができる。

(成績評価)

第51条 各科目の試験等の結果は、AA、A、B、C及びFで評価し、AA、A、B及びCを合格とする。なお、評価に対する評点については、これを別に定める。

2 実際に行った授業回数の3分の1以上欠席した場合は、失格とする。

(進級制限)

第51条の2 進級制限を設けることがある。進級制限に関する基準は、進級制限を行う学部がこれを定める。

(卒業の認定)

第52条 本学に4年（薬学部薬学科においては6年）以上在学し、所定の単位を修得した者には、卒業を認定する。

(学位)

第53条 本学を卒業した者には、金城学院大学学位規程の定めるところにより学士の学位を授与する。

第6章 授業料及びその他の学納金

(授業料等の学納金)

第54条 学生は、授業料及びその他の所定の学納金を納付しなければならない。

2 前項の授業料及びその他の所定の学納金の金額、納付方法、期日等は、第37条及び第55条から第57条並びに別記によるほか、これを別に定める。

第55条 既に納付した授業料及びその他の所定の学納金は、事情の如何にかかわらずこれを返却しない。

2 前項にかかわらず、第48条第5号により除籍された場合に限り、その学期分の授業料及びその他の所定の学納金は徴収しない。なお、納付が済んでいる場合は返却する。

(在籍料)

第56条 休学期間中は、授業料及びその他の所定の学納金に代えて在籍料を納付しなければならない。

2 授業開始8週間以内に休学を願い出た場合の在籍料は、半期50,000円とする。

3 授業開始8週間を経た後に休学を願い出た場合の当該学期の在籍料は、授業料の半額相当額とする。

(在学料)

第56条の2 在学年数が4年（薬学部薬学科においては6年）を超える者、及び進級制限を受け同じ学年に留まる者は、授業料及びその他の所定の学納金に代えて在学料を納付しなければならない。

2 卒業要件又は進級要件上の不足単位数が9単位以内の者の在学料は、授業料の半額相当額とする。

3 前項以外の者の在学料は、授業料及びその他の所定の学納金と同額とする。

第57条 学期の途中で退学する者は、その学期分の授業料及びその他の所定の学納金を納付しなければならない。

第7章 職員組織

(職員)

第58条 本学に学長、教授、准教授、講師、助教、事務職員、その他必要な職員を置く。

2 学長は、校務をつかさどり、所属職員を統督する。

第58条の2 本学に副学長、学部長、教務部長、学生部長及びその他必要な役職を置く。

2 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

3 学部長は、学部に関する校務をつかさどる。

4 前各項のほか、その他必要な役職については、これを別に定める。

第8章 教授会

(教授会)

第59条 本学の各学部それぞれの教授会を置く。

2 各学部の教授会の運営についての規程は、これを別に定める。

第60条 各学部教授会は、次の事項を審議する。

(1) 学則の改正

(2) 教育課程に関する事項

(3) 教員の人事に関する事項

(4) 学生の入学、再入学、退学、休学、編入学、転学、留学、賞罰及び除籍に関する事項

(5) 学生の試験、単位認定、卒業及び学位の授与に関する事項

(6) 科目等履修生、聴講生、特別聴講学生及び外国人留学生の取扱いに関する事項

(7) その他教育研究に関する重要な事項

第60条の2 各学部教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学、卒業

(2) 学位の授与

(3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

第9章 大学評議会

第61条 本学に、各学部共通する事項について審議する機関として、大学評議会を置く。

2 大学評議会についての規程は、これを別に定める。

第10章 科目等履修生、聴講生、外国人留学生及び特別聴講学生

(科目等履修生)

第62条 本学所定の授業科目のうち1科目又はそれ以上の科目の履修を志願する者がある

ときは、教授会において選考の上、科目等履修生としてその履修を認めることがある。

- 2 科目等履修生に対する単位の授与については、第50条及び第51条を準用する。
- 3 科目等履修生に関する規程は、これを別に定める。

(聴講生)

第63条 本学所定の授業科目のうち1科目又はそれ以上の科目の聴講を志願する者がある

ときは、教授会において選考の上、聴講生として入学を許可することがある。

- 2 聴講生は定員外とする。
- 3 聴講生の単位修得は、これを認めない。
- 4 聴講生に関する規程は、これを別に定める。

(外国人留学生)

第64条 外国人で留学生として入学を志願する者があるときは、教授会において選考の上これを許可することがある。

- 2 外国人留学生にはこの学則の条項を準用する。
- 3 外国人留学生に関する規程は、これを別に定める。

(特別聴講学生)

第65条 他の大学又は短期大学（外国の大学又は短期大学を含む）との協議により、当該大学に在学中で本学の授業科目の履修を志願する者がある時は、教授会において選考の上、特別聴講学生としてこれを許可する。

- 2 特別聴講学生で聴講科目について試験に合格した者には、単位の修得を認定する。
- 3 特別聴講学生に関する規程は、これを別に定める。

第11章 図書館

(図書館)

第66条 本学に附属図書館を置く。

- 2 図書館に関する規程は、これを別に定める。

第12章 附置研究施設

(附置研究施設)

第67条 本学に附置研究施設を置く。

- 2 附置研究施設に関する規程は、これを別に定める。

第13章 附置相談室

(附置心理臨床相談室)

第68条 本学に附置心理臨床相談室を置く。

- 2 附置心理臨床相談室に関する規程は、これを別に定める。

第14章 学生寮

(学生寮)

第69条 本学に学生寮を置く。

2 学生寮に関する規程は、これを別に定める。

第15章 学則の改正

(学則の改正)

第70条この学則の改正は、各学部教授会及び大学評議会の審議に基づき、理事会の議決を経てこれを行う。

附 則

この学則は、1949年2月21日から施行する。

附 則

この学則は、1952年4月18日から施行する。

附 則

この学則は、1954年6月1日から施行する。

附 則

この学則は、1957年5月1日から施行する。

附 則

この学則は、1960年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1962年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1963年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1965年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1966年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1967年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1968年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1969年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1970年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1970年5月1日から施行する。

附 則

この学則は、1971年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1972年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1973年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1974年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1975年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1976年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1976年6月1日から施行する。

附 則

この学則は、1977年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1978年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1978年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1979年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1980年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1981年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1982年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1983年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1984年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1985年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1986年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1987年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1988年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1989年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1990年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1991年（平成3年）4月1日から施行し、1991年度（平成3年度）入学者から適用する。ただし、第7条の規定にかかわらず、1991年度（平成3年度）から1999年度（平成11年度）までの入学定員は、次のとおりとする。

学部学科名	入学定員	
文学部	国文学科	110名
	英文学科	110名
	社会学科	120名
	計	340名
家政学部	家政学科	100名
	児童学科	100名
	計	200名
総計	540名	

附 則

この学則は、1991年4月1日から施行する。ただし、別表1－3及び第18条は、1990年4月入学者より適用する。

附 則

この学則は、1991年7月1日から施行する。

附 則

この学則は、1992年（平成4年）4月1日から施行し、1992年度（平成4年度）入学者から適用する。ただし、第7条及び前附則に規定の入学定員にかかわらず、1992年度（平成4年度）から1999年度（平成11年度）までの入学定員は、次のとおりとする。

学部学科名	入学定員	
文学部	国文学科	110名
	英文学科	110名
	社会学科	120名
	計	340名
家政学部	家政学科	80名
	生活経営学科	80名
	児童学科	80名
	計	240名
総計	580名	

附 則

この学則は、1993年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1994年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1995年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1996年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、1997年（平成9年）4月1日から施行し、1997年度（平成9年度）入学者から適用する。ただし、第7条及び前附則に規定の入学定員にかかわらず、1997年度（平成9年度）から1999年度（平成11年度）までの文学部、家政学部及び現代文化学部の入学定員は、次のとおりとする。

学部学科名		入学定員
文学部	国文学科	110名
	英文学科	110名
	言語文化学科	70名
	計	290名
家政学部	家政学科	80名
	生活経営学科	80名
	児童学科	80名
	計	240名
現代文化学部	国際社会学科	75名
	情報文化学科	65名
	福祉社会学科	75名
	計	215名
総計		745名

- 2 第5条及び第18条の規定にかかわらず、文学部社会学科は在学生在が卒業するまでのあいだ存続し、在学生の卒業を待って廃止する。なお、廃止までのあいだは、従前の学則の規定に従う。

附 則

- 1 この学則は、1998年（平成10年）4月1日から施行する。ただし、第5条の規定にかかわらず、国文学科については、1998年（平成10年）3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 2 第7条及び前附則に規定の入学定員にかかわらず、1998年度（平成10年度）から1999年度（平成11年度）までの文学部、家政学部及び現代文化学部の入学定員は、次のとおりとする。

学部学科名		入学定員
文学部	日本文学科	110名
	英文学科	110名
	言語文化学科	70名
	計	290名
家政学部	家政学科	80名
	生活経営学科	80名
	児童学科	80名
	計	240名
現代文化学部	国際社会学科	75名
	情報文化学科	65名
	福祉社会学科	75名

計 215名
総 計 745名

附 則

- 1 この学則は、2000年（平成12年）4月1日から施行し、2000年度（平成12年度）入学者から適用する。ただし、第7条に規定の入学定員にかかわらず、2000年度（平成12年度）から2003年度（平成15年度）までの文学部、家政学部及び現代文化学部の入学定員は、次のとおりとする。

学部学科名		2000年度 (平成12年度)	2001年度 (平成13年度)	2002年度 (平成14年度)	2003年度 (平成15年度)
		入学定員	入学定員	入学定員	入学定員
文学部	日本文学科	98名	86名	80名	80名
	英文学科	104名	98名	86名	80名
	言語文化学科	70名	70名	70名	70名
	計	272名	254名	236名	230名
家政学部	家政学科	80名	80名	80名	6名
	生活経営学科	80名	80名	80名	76名
	児童学科	80名	80名	80名	76名
	計	240名	240名	240名	228名
現代文化学部	国際社会学科	75名	75名	75名	75名
	情報文化学科	65名	65名	65名	65名
	福祉社会学科	75名	75名	75名	75名
	計	215名	215名	215名	215名
総 計		727名	709名	691名	673名

- 2 第10条第3項、第11条（教養教育科目のうち、○を付した科目に限る。）、第15条、第16条、第17条、第18条、第24条及び第37条は、2000年（平成12年）4月1日から在学生全員に適用する。

附 則

この学則は、2001年4月1日から施行し、2001年度入学者から適用する。ただし、第19条第2項表中の現代文化学部情報文化学科の高等学校教諭1種免許状「情報」の普通免許状授与の所要資格を得させるための課程は、2000年度入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、2002年（平成14年）4月1日から施行し、2002年度（平成14年度）入学者から適用する。ただし、第7条に規定の入学定員にかかわらず、2002年度（平成14年度）から2003年度（平成15年度）までの文学部、生活環境学部及び人間科学部の入学定員及び2004年度（平成16年度）以降の各学部の入学定員は、次のとおりとする。

学部学科名	2002年度 (平成14年度)	2003年度 (平成15年度)	2004年度 (平成16年度以降)
	入学定員	入学定員	入学定員

文学部	日本語日本文化学科	70名	70名	70名	
	英語英米文化学科	96名	90名	90名	
	言語文化学科	80名	80名	80名	
	計	246名	240名	240名	
生活環境学部	生活環境情報学科	90名	86名	80名	
	環境デザイン学科	90名	86名	80名	
	食環境栄養学科	80名	80名	80名	
	計	260名	252名	240名	
現代文化学部	国際社会学科	85名	85名	85名	
	情報文化学科	95名	95名	95名	
	福祉社会学科	85名	85名	85名	
	計	265名	265名	265名	
人間科学部	現代子ども学科	100名	96名	90名	
	心理学科	社会心理学専	60名	60名	60名
		臨床心理学専	50名	50名	50名
	芸術表現療法学科	50名	50名	50名	
	計	260名	256名	250名	
総計		1,031名	1,013名	995名	

2 第5条及び第19条の規定にかかわらず、家政学部家政学科及び児童学科は在学生在が卒業するまでの間存続し、在学生の卒業を待って廃止する。なお、廃止までの間は従前の学則の規定に従う。

3 第5条及び第19条の規定にかかわらず、文学部日本文学科、英文学科、家政学部生活経営学科については、2002年（平成14年）3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則

この学則は、2003年（平成15年）4月1日から施行し、2003年度（平成15年度）入学者から適用する。ただし、第24条については、2002年度（平成14年度）入学者から適用する。

附 則

1 この学則は、2004年（平成16年）4月1日から施行し、2004年度（平成16年度）入学者から適用する。

2 前項にかかわらず、別表1-3（4）及び（8）の「知的財産権論」に変更すること、（6）の「特定給食施設実習（1）」、「特定給食施設実習（2）」に変更すること、（8）の「実務研修」を削除すること、並びに別表3及び4については2002年度（平成14年度）入学者から適用する。

附 則

この学則は、2005年（平成17年）4月1日から施行し、2005年度（平成17年度）入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、2005年（平成17年）4月1日から施行し、2005年度（平成17年度）入学者から適用する。
- 2 第19条第2項表中の生活環境学部食環境栄養学科の栄養教諭1種免許状の所要資格を得させるための課程は、2004年度（平成16年度）入学者から適用する。
- 3 第23条の2については、2002年度（平成14年度）入学者から適用する。
- 4 第56条及び第56条の2については、2005年4月1日から在学学生全員に適用する。
- 5 別表1-3（6）については、2004年度（平成16年度）入学者から適用する。
- 6 前項にかかわらず、別表1-3（6）の「栄養教育論実習」に変更すること、「臨地実習」に変更することについては、2003年度（平成15年度）入学者から適用する。

附 則（2005年7月25日理事会）

この学則は、2006年（平成18年）4月1日から施行し、2006年度（平成18年度）入学者から適用する。

附 則（2006年3月27日理事会）

この学則は、2006年（平成18年）4月1日から施行し、2006年度（平成18年度）入学者から適用する。ただし、別表1-4については、2004年度（平成16年度）入学者から適用する。

附 則（2006年11月27日理事会）

この学則は、2007年（平成19年）4月1日から施行する。

附 則（2007年3月26日理事会）

- 1 この学則は、2007年（平成19年）4月1日から施行し、2007年度（平成19年度）入学者から適用する。
- 2 第19条第2項表中の人間科学部現代子ども学科の小学校教諭1種免許状、及び薬学部薬学科の高等学校教諭1種免許状「理科」、中学校教諭1種免許状「理科」の所要資格を得させるための課程は、2006年度（平成18年度）入学者から適用する。
- 3 第40条第1項及び第56条については、2007年（平成19年）4月1日から在学学生全員に適用する。
- 4 第40条第3項及び第56条の2については、2006年度（平成18年度）入学者から適用する。ただし、第56条の2第1項中の「進級制限を受け同じ学年に留まる者」については、2005年度（平成17年度）薬学部薬学科入学者にも適用する。
- 5 別表1-3（2）については、2006年度（平成18年度）入学者から適用する。
- 6 別表1-4については、2006年度（平成18年度）入学者から適用する。

附 則（2007年11月26日理事会）

この学則は、2007年（平成19年）11月26日から施行する。ただし、別表3及び別表4については、2007年度（平成19年度）入学者から適用する。

附 則（2008年3月24日理事会）

この学則は、2008年（平成20年）4月1日から施行し、2008年度（平成20年度）入学者から適用する。

附 則（2008年3月24日理事会）

- 1 この学則は、2009年（平成21年）4月1日から施行し、2009年度（平成21年度）入学

者から適用する。

- 2 第7条に規定の収容定員にかかわらず、2009年度（平成21年度）から2011年度（平成23年度）までの生活環境学部、現代文化学部及び人間科学部の収容定員及び2012年度（平成24年度）以降の各学部の収容定員は、次のとおりとする。

学部学科名		2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)	2012年度 (平成24年度以 降)	
		収容定員	収容定員	収容定員	収容定員	
文学部	日本語日本文化学科	280名	280名	280名	280名	
	英語英米文化学科	360名	360名	360名	360名	
	外国語コミュニケーション学 科	320名	320名	320名	320名	
	計	960名	960名	960名	960名	
生活環境学部	生活環境情報学科	310名	300名	290名	280名	
	環境デザイン学科	320名	320名	320名	320名	
	食環境栄養学科	320名	320名	320名	320名	
	計	950名	940名	930名	920名	
現代文化学部	国際社会学科	345名	340名	335名	330名	
	情報文化学科	385名	380名	375名	370名	
	福祉社会学科	340名	330名	320名	310名	
	計	1,070名	1,050名	1,030名	1,010名	
人間科学部	現代子ども学科	400名	430名	460名	490名	
	心理学科	社会心理学専攻	244名	244名	244名	244名
		臨床心理学専攻	206名	206名	206名	206名
	芸術・芸術療法学科	210名	210名	210名	210名	
	計	1,060名	1,090名	1,120名	1,150名	
薬学部	薬学科	750名	900名	900名	900名	
	計	750名	900名	900名	900名	
総計		4,790名	4,940名	4,940名	4,940名	

- 3 第5条、第7条及び第19条の規定にかかわらず、文学部言語文化学科、人間科学部芸術表現療法学科については、2009年（平成21年）3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則（2009年3月23日理事会）

この学則は、2009年（平成21年）4月1日から施行し、2009年度（平成21年度）入学者から適用する。

附 則（2009年3月23日理事会）

- 1 この学則は、2010年（平成22年）4月1日から施行し、2010年度（平成22年度）入学者から適用する。
- 2 第5条、第7条及び第19条の規定にかかわらず、生活環境学部生活環境情報学科及び現代文化学部福祉社会学科については、2010年（平成22年）3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則（2010年3月29日理事会）

- 1 この学則は、2010年（平成22年）4月1日から施行し、2010年度（平成22年度）入学者から適用する。
- 2 第8条第3項及び第50条については、2010年4月1日から在学学生全員に適用する。

附 則（2010年3月29日理事会）

- 1 この学則は、2011年（平成23年）4月1日から施行し、2011年度（平成23年度）入学者から適用する。
- 2 第5条、第7条及び第19条の規定にかかわらず、人間科学部心理学科社会心理学専攻及び臨床心理学専攻については、2011年（平成23年）3月31日に当該学科専攻に在学する者が当該学科専攻に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則（2011年3月28日理事会）

- 1 この学則は、2011年（平成23年）4月1日から施行し、2011年度（平成23年）入学者から適用する。
- 2 別表2 授業科目 1 共通教育科目 VIアクティブ・ラーニング科目 ⑩プロジェクト科目のうち、「異文化体験」「ボランティア活動」「学生プロジェクト」の3科目については、2010年度以前の入学生にも適用し、修得した単位は総合教育科目又は自由履修の単位数に含めることができる。
- 3 別表3 卒業に必要な最低修得単位数のうち、食環境栄養学科の専門教育科目の単位数については2008年度入学者から適用する。

附 則（2011年3月28日理事会）

- 1 この学則は、2012年（平成24年）4月1日から施行し、2012年度（平成24年度）入学者から適用する。
- 2 第5条、第7条及び第19条の規定にかかわらず、現代文化学部国際社会学科、情報文化学科及びコミュニティ福祉学科については、2012年（平成24年）3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則（2011年5月23日理事会）

この学則は、2011年（平成23年）5月23日から施行し、2011年度（平成23年度）入学者から適用する。

附 則（2012年3月26日理事会）

この学則は、2012年（平成24年）4月1日から施行し、2012年度（平成24年度）入学者から適用する。

附 則（2012年3月26日理事会）

- 1 この学則は、2013年（平成25年）4月1日から施行し、2013年度（平成25年度）入学者から適用する。
- 2 第5条、第7条及び第19条の規定にかかわらず、人間科学部芸術・芸術療学科については、2013年（平成25年）3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則（2013年3月25日理事会）

- 1 この学則は、2013年（平成25年）4月1日から施行し、2013年度（平成25年度）入学者から適用する。
- 2 第51条については、在学学生全員に適用する。

附 則（2014年3月31日理事会）

この学則は、2014年（平成26年）4月1日から施行する。

附 則（2015年3月30日理事会）

- 1 この学則は、2015年（平成27年）4月1日から施行する。
- 2 別表2及び別表3については、2015年度（平成27年度）入学者から適用する。

附 則（2015年3月30日理事会）

この学則は、2016年（平成28年）4月1日から施行し、2016年度（平成28年度）入学者から適用する。

附 則（2016年3月28日理事会）

この学則は、2016年（平成28年）4月1日から施行する。

附 則（2017年3月27日理事会）

- 1 この学則は、2017年（平成29年）4月1日から施行する。
- 2 第12条の2、別表2及び別表3については、2017年度（平成29年度）入学者から適用する。

附 則（2017年11月27日理事会）

- 1 この学則は、2018年（平成30年）4月1日から施行する。
- 2 別表2については、2018年度（平成30年度）入学者から適用する。

附 則（2018年3月26日理事会）

- 1 この学則は、2018年（平成30年）4月1日から施行する。
- 2 別表2及び別表7については、2018年度（平成30年度）入学者から適用する。

附 則（2018年3月26日理事会）

- 1 この学則は、2019年（平成31年）4月1日から施行し、2019年度（平成31年度）入学者から適用する。
- 2 第5条、第7条及び第19条の規定にかかわらず、人間科学部現代子ども学科については、2019年（平成31年）3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則（2019年3月25日理事会）

- 1 この学則は、2019年（平成31年）4月1日から施行し、2019年度（平成31年度）入学者から適用する。
- 2 第28条の2については、2018年度（平成30年度）入学者から適用する。

附 則（2019年5月27日理事会）

この学則は、2020年（令和2年）4月1日から施行する。

附 則（2020年3月2日理事会）

この学則は、2021年（令和3年）4月1日から施行し、2021年度（令和3年度）入学者から適用する。

附 則（2020年3月30日理事会）

この学則は、2020年（令和2年）4月1日から施行し、2020年度（令和2年度）入学者から適用する。

附 則（2021年3月8日理事会）

この学則は、2022年（令和4年）4月1日から施行し、2022年度（令和4年度）入学者から適用する。

別表 1

教育研究上の目的

<p>文学部</p>	<p>日本語あるいは外国語または音楽演奏を通して言語運用能力や自己表出力、芸術的表現力を涵養するとともに、伝統文化を内省し、人類の精神的所産である文芸への認識を深めることにより、古今東西を視野に入れた文化力や人間の行動原理を支配する高度の教養の獲得を目指し、現代社会や未来社会をリードする人材を育成する。</p>
<p>日本語日本文化学科</p>	<p>日本文学だけではなく日本文化を広く探求し、その成果を発信する能力を育てる教育を進める。それと同時に、中学校、高等学校の教員養成の課程のほか、司書、司書教諭、博物館学芸員の資格課程および日本語能力検定試験に対応した日本語教員養成の授業科目も設置して、職業意識の高い人材を育成する。</p>
<p>英語英米文化学科</p>	<p>イギリス、アメリカをはじめとする英語圏の文化と言語を幅広く理解するとともに、高度な英語運用能力を養成する教育を進め、同時に、中学校、高等学校の教員養成の課程のほか、早期英語教育指導者養成プログラム、通訳士、翻訳士養成プログラム、エアラインプログラムを設け、日本と世界で活躍しうる人材を育成する。</p>
<p>外国語コミュニケーション学科</p>	<p>フランス語、ドイツ語、中国語のいずれかと英語を活用できる人材を育成する。また、外国の文化を日本という視点に立って理解し、その文化の理解で得たものを日本社会で応用できる、より実践的な、社会に貢献できる人材を育成する。中学校、高等学校の教員のほか、外国人の母語を理解した日本語教員も養成する。</p>
<p>音楽芸術学科</p>	<p>演奏活動を通して鍛えた豊かな感性、芸術作品と芸術活動への理解に基づく洞察力、自己を律する強い精神力を活かし、音楽分野をはじめ社会の様々な分野で活躍しうる人材を育成する。</p>
<p>生活環境学部</p>	<p>生活者の視点から「真に豊かな生活」の実現を目指して、人間と環境をめぐる生活の諸課題を学際的、総合的に究明するとともに、その解決に資する実践的な知識、技術を修得した人材を育成する。特に、生活課題の解決にあたり、人と環境にやさしいライフスタイルを提案し、実践できる能力を養成する。</p>
<p>生活マネジメント学科</p>	<p>環境を生活者の視点からとらえ、家族生活、消費生活における課題解決に必要な専門知識、技術を習得し、家族福祉、消費者福祉を達成しうる人材育成を目指す。情報活用能力と自己実現を目指す生活設計能力を開発し、より高い生活の質を実現するライフスタイルと生活環境のあり様を提案できる力を養成する。</p>
<p>環境デザイン学科</p>	<p>豊かで望ましい衣環境、住環境、地域環境の実現に取り組む人材を育成する。生活者の視点から、ユニバーサルデザイン、アメニティ、環境共生をキーワードとした「人と環境にやさしいモノづくり」を学問的に究明するとともに、自ら実践ないし創造する技術的、政策的能力を養成する。</p>
<p>食環境栄養学科</p>	<p>現代人の健康保持や疾病予防に取り組み、食育を進める管理栄養士を養成する。基礎学力を重視して幅広い専門科目の分野横断的理解と、専門的な問題解決能力の養成を図る。ライフスタイルや生活環境と関連付け、生活を科学的に究明する力やトータルに食と健康を管理する能力を養成する。</p>

<p>国際情報学部 国際情報学科</p>	<p>国際化、情報化に関する専門的な知識と技能を総合的に学習し、多角的な視点から現代社会の諸制度と構造を深く把握したうえで、高度な専門的・実践的能力を十二分に活かして現実問題に取り組む人材を育成する。具体的課題として、国際社会、地域研究、現代社会、国際ビジネス、女性リーダーシップ、広告ビジネス、マスコミ、情報デザイン、情報技術の9つの分野を中心に、問題解決に実践的に取り組むことのできる能力を養成する。</p>
<p>人間科学部</p>	<p>「発達する存在」「心理的存在」「支えあう存在」の3つを人間理解の中核に置き、それぞれに対応した学科において専門的理解を深めるとともに、人間への総合的な探求を学部教育の基本的理念として掲げ、急激に変化する現代社会のなかで個人としても職業人としても自律的に生きていくことのできる人材を育成する。</p>
<p>現代子ども教育学科</p>	<p>人間の生涯発達のなかで、とくに乳幼児期から児童期に至る発達の初期段階に重点をおいて、子どもに関わる心理、教育、保育、福祉、文化などの領域を幅広く学び、幼稚園教諭、保育士、小学校教諭として、また育児支援センターなど家族支援を含む各種の機関で活躍することのできる専門的力量を持った人材を育成する。</p>
<p>多元心理学科</p>	<p>心理学の基礎的事項を幅広く学ぶことにより、人間の精神的活動と社会的行動への理解を深めることを目指す。学生の学習興味および将来設計に応じて、より専門的な心理学の知識と技能を選択的に学習することにより、現代社会が抱える多様な課題に柔軟に対処し、心の専門家として貢献できる人材を育成する。</p>
<p>コミュニティ福祉学科</p>	<p>少子高齢社会を迎え、福祉社会の形成が求められる今日、社会福祉学・人間福祉学を理論、実践の両面から幅広く学び、社会福祉の現場、さらに保健、医療、教育、住環境など多様な領域で活かせる社会福祉の専門的な知識、技術を習得し、生活者の視点からコミュニティ形成を担う人材を育成する。</p>
<p>薬学部 薬学科</p>	<p>高いコミュニケーション能力を備え、人のこころが分かる専門性の高い薬学ジェネラリストを育て、地域社会並びに国内・国外の医療現場で信頼される薬剤師として活躍する人材を育成する。問題解決能力の向上と女性に特化した薬学教育の充実を図り、これらの教育の基盤となる研究環境を整備・充実して、医療現場の視点に立った医薬品開発研究に取組み、人類の健康と福祉に貢献できる人材を育成する。</p>
<p>看護学部 看護学科</p>	<p>豊かな人間性を育むことにより、多様な価値観や文化を尊重し、人間への畏敬の念をもって他者をいたわり、思いやることのできる優しさを備え、看護学の専門知識に基づいて自ら考え、判断する力と、確かな看護技術をもって実践する能力を有し、看護の質向上に寄与するために研鑽を重ねることができ看護職者を養成する。</p>

別表2 授業科目

1 共通教育科目

I 金城アイデンティティ科目

①キリスト教

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
キリスト教学 (1)	2	キリスト教学 (2)	2
キリスト教学 (3)	2	キリスト教学 (4)	2
聖書の読み方	2	現代世界とキリスト教	2
医療とキリスト教精神	2	福祉とキリスト教	2
キリスト教文化学入門	2	いのち・こころ	2

②女性

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
聖書の女性観	2	歴史の中の女性	2
世界の女性問題	2	福祉と女性	2
女性と文学	2	男女共同参画社会	2
性差の科学	2		

③国際理解

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
世界の多様な文化	2	世界の社会問題	2
多文化共生社会	2	Topics in Comparative Culture	2
Topics in Contemporary Japan	2	異文化コミュニケーション	2

II 金城コア科目

④英語教育科目

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
英語コミュニケーションA (1)	1	英語コミュニケーションA (2)	1
英語コミュニケーションB (1)	1	英語コミュニケーションB (2)	1
英語コミュニケーションC (1)	1	英語コミュニケーションC (2)	1
英語コミュニケーションD (1)	1	英語コミュニケーションD (2)	1
英語コミュニケーションE (1)	1	英語コミュニケーションE (2)	1
英語コミュニケーションF	1	英語コミュニケーションG	1

⑤外国語教育科目

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
ドイツ語 (1)	1	ドイツ語 (2)	1
ドイツ語 (3)	1	ドイツ語 (4)	1
ドイツ語会話 (1)	1	ドイツ語会話 (2)	1
ドイツ語会話 (3)	1	ドイツ語会話 (4)	1
フランス語 (1)	1	フランス語 (2)	1
フランス語 (3)	1	フランス語 (4)	1
フランス語会話 (1)	1	フランス語会話 (2)	1
フランス語会話 (3)	1	フランス語会話 (4)	1
スペイン語 (1)	1	スペイン語 (2)	1
スペイン語 (3)	1	スペイン語 (4)	1
スペイン語会話 (1)	1	スペイン語会話 (2)	1
スペイン語会話 (3)	1	スペイン語会話 (4)	1
中国語 (1)	1	中国語 (2)	1
中国語 (3)	1	中国語 (4)	1

中国語会話（１）	1	中国語会話（２）	1
中国語会話（３）	1	中国語会話（４）	1
韓国・朝鮮語（１）	1	韓国・朝鮮語（２）	1
韓国・朝鮮語（３）	1	韓国・朝鮮語（４）	1
韓国・朝鮮語会話（１）	1	韓国・朝鮮語会話（２）	1
韓国・朝鮮語会話（３）	1	韓国・朝鮮語会話（４）	1

⑥キャリア開発教育科目

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
キャリア開発A	2	キャリア開発B	1
キャリア開発C	2	キャリア開発D	2
キャリア開発E	2	キャリア開発F	2
キャリア開発G（１）	2	キャリア開発G（２）	2
女性みらい	1		

Ⅲ 金城展開科目

⑦教養科目

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
文学A	2	文学B	2
文学C	2	史学A	2
史学B	2	史学C	2
哲学A	2	哲学B	2
倫理学A	2	倫理学B	2
地域研究A	2	地域研究B	2
地域研究C	2	地域研究D	2
地理	2	文化人類学	2
宗教学	2	日本語学	2
日本語表現	2	ロジカルシンキング	2
芸術・音楽A	2	芸術・音楽B	2
芸術・音楽C	2	芸術・音楽D	1
芸術・美術A	2	芸術・美術B	2
芸術・美術C	2	法学	2
日本国憲法	2	政治学	2
平和学	2	経済学	2
経営学A	2	経営学B	2
社会学A	2	社会学B	2
名古屋学	2	心理学A	2
心理学B	2	心理学C	2
生活科学A	2	生活科学B	2
生活科学C	2	衣生活学A	2
衣生活学B	2	食生活学	2
住生活学	2	健康科学	2
生物学A	2	生物学B	2
環境学	2	数学	2
統計科学	2	情報学	2
薬学	2	教職入門	2
学校と教育の歴史	2	発達と学習	2
教育相談	2	大学での学び	1

⑧情報教育科目

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
情報リテラシー	2	I T活用A	2
I T活用B	2	I T活用C	2
I T活用D	2	I T活用E	2
I T活用F	2	I T活用G	2
I T活用H	2		

⑨ S & E 教育科目

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
スポーツ・アンド・エクササイズA	1	スポーツ・アンド・エクササイズB	1
スポーツ・アンド・エクササイズC	1	スポーツ・アンド・エクササイズD	1
スポーツ・アンド・エクササイズE	1	スポーツ・アンド・エクササイズF	1
スポーツ・アンド・エクササイズG	1	スポーツ・アンド・エクササイズH	1
スポーツ・アンド・エクササイズ講義	1		

⑩ 学生プロジェクト科目

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
キャリアプロジェクト	2	里山プロジェクト	2
K I D Sセンタープロジェクト	2	ボランティアプロジェクト	2
訪問演奏プロジェクト	2		

⑪ 海外研修科目

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
海外研修A	2	海外研修B	2
海外研修C	2	海外研修D	2
海外研修E	2	海外留学準備講座	1

⑫ 実践ビジネス英語科目

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
実践ビジネス英語A	1	実践ビジネス英語B	1
実践ビジネス英語C	1	実践ビジネス英語D	1
実践ビジネス英語E	1	海外ビジネス研修	1

IV 単位認定科目

⑬ 単位認定科目

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
外国語検定（英語コミュニケーションA）	2	外国語検定（英語コミュニケーションB）	2
外国語検定（英語コミュニケーションC）	2	外国語検定（英語コミュニケーションD）	2
外国語検定（ドイツ語1、2）	2	外国語検定（ドイツ語3、4）	2
外国語検定（ドイツ語会話1、2）	2	外国語検定（ドイツ語会話3、4）	2
外国語検定（フランス語1、2）	2	外国語検定（フランス語3、4）	2
外国語検定（フランス語会話1、2）	2	外国語検定（フランス語会話3、4）	2
外国語検定（スペイン語1、2）	2	外国語検定（スペイン語3、4）	2
外国語検定（スペイン語会話1、2）	2	外国語検定（スペイン語会話3、4）	2
外国語検定（中国語1、2）	2	外国語検定（中国語3、4）	2
外国語検定（中国語会話1、2）	2	外国語検定（中国語会話3、4）	2
外国語検定（韓国・朝鮮語1、2）	2	外国語検定（韓国・朝鮮語3、4）	2
外国語検定（韓国・朝鮮語会話1、2）	2	外国語検定（韓国・朝鮮語会話3、4）	2

2 日本語及び日本事情に関する科目

(1) 日本語科目

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
日本語 2 1 1	1	日本語 2 1 2	1
日本語 2 1 3	1	日本語 2 1 4	1
日本語 2 1 5	1	日本語 2 2 1	1
日本語 2 2 2	1	日本語 2 2 3	1
日本語 2 2 4	1	日本語 2 2 5	1
日本語 3 1 1	1	日本語 3 1 2	1
日本語 3 1 3	1	日本語 3 1 4	1
日本語 3 1 5	1	日本語 3 2 1	1
日本語 3 2 2	1	日本語 3 2 3	1
日本語 3 2 4	1	日本語 3 2 5	1
日本語 4 1 1	1	日本語 4 1 2	1
日本語 4 2 1	1	日本語 4 2 2	1

(2) 日本事情に関する科目

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
日本事情A	2	日本事情B	2
日本事情C	2	日本事情D	2
インディペンデント・スタディ	2		

3 専門教育科目

(1) 文学部日本語日本文化学科

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
古典文化入門	2	近現代文化入門	2
日本語学入門	2	日本文化通史	2
言語の技法A	1	言語の技法B	1
インターネット・コミュニケーション	2	日文キャリア	2
人文データベース	2	言語の技法C	1
言語の技法D	1	日本文化実習A	1
日本文化実習B	1	日本文化実習C	1
日本文化実習D	1	書道A	1
書道B	1	書道C	1
書道D	1	古典文化概論	2
古典文学概論	2	古典文化史	2
古典文学史	2	古典文化講読(1)	2
古典文化講読(2)	2	古典文学講読(1)	2
古典文学講読(2)	2	古典文化講義(1)	2
古典文化講義(2)	2	漢文学概論(1)	2
漢文学概論(2)	2	漢文学史	2
漢文学講読	2	近現代文化概論	2
近現代文学概論	2	近現代文化史	2
近現代文学史	2	近現代文化研究(1)	2
近現代文化研究(2)	2	近現代文学講読(1)	2
近現代文学講読(2)	2	近現代文化講義(1)	2
近現代文化講義(2)	2	現代芸術論(1)	2
現代芸術論(2)	2	日本語学概論(1)	2
日本語学概論(2)	2	日本語学講読(1)	2
日本語学講読(2)	2	日本語史(1)	2
日本語史(2)	2	日本語学講義A	2
日本語学講義B	2	日本語学講義C	2
日本語学講義D	2	日本語学講義E	2

書道史	2	書論	2
生涯学習概論	2	図書館概論	2
図書館情報技術論	2	図書館制度・経営論	2
図書館サービス概論	2	情報サービス論	2
児童サービス論	2	情報サービス演習(1)	1
情報サービス演習(2)	1	図書館情報資源概論	2
情報資源組織論	2	情報資源組織演習(1)	1
情報資源組織演習(2)	1	図書館基礎特論	2
図書館サービス演習	1	図書館情報資源特論	2
図書・図書館史	1	図書館施設論	1
学校経営と学校図書館	2	学校図書館メディアの構成	2
学習指導と学校図書館	2	読書と豊かな人間性	2
情報メディアの活用	2	博物館概論	2
博物館経営論	2	博物館資料論	2
博物館資料保存論	2	博物館展示論	2
博物館情報・メディア論	2	博物館教育論	2
博物館実習(1)	2	博物館実習(2)	1
日本文化総論	2	古典特殊講義A(1)	2
古典特殊講義A(2)	2	古典特殊講義B(1)	2
古典特殊講義B(2)	2	日本民俗学(1)	2
日本民俗学(2)	2	日本美術史(1)	2
日本美術史(2)	2	古典芸術論(1)	2
古典芸術論(2)	2	日本書誌学(1)	2
日本書誌学(2)	2	近現代特殊講義A(1)	2
近現代特殊講義A(2)	2	近現代特殊講義B(1)	2
近現代特殊講義B(2)	2	ポップカルチャー論(1)	2
ポップカルチャー論(2)	2	比較文化・文学理論A	2
比較文化・文学理論B	2	メディア言説論(1)	2
メディア言説論(2)	2	日本文化創造A	2
日本文化創造B	2	日本語学特殊講義A(1)	2
日本語学特殊講義A(2)	2	日本語学特殊講義B(1)	2
日本語学特殊講義B(2)	2	日本語学特殊講義C	2
Cross-Cultural Communication	2	日本語教育入門	2
日本語教授法	2	世界の日本語教育	2
日本語の音声・文字	2	日本語文法	2
日本語教育の諸問題	2	日本語教育演習A	1
日本語教育演習B	1	国内日本語教育実習	2
海外日本語教育実習	2	西洋音楽史入門	2
西洋美術史A	2	西洋美術史B	2
音楽鑑賞A	2	音楽鑑賞B	2
邦楽鑑賞	2	中国語文化入門	2
フランス語文化入門	2	ドイツ語文化入門	2
ヨーロッパの文化と芸術	2	民族と芸術	2
金城シネマ	2	日本の多文化事情	2
世界と日本のクラシック	2	英米文化研究A	2
英米文化研究B	2	英米文化研究C	2
英米文化研究D	2	英米文化研究E	2
英語語彙研究	2	英語意味研究	2
地中海文化入門	2	イタリア文化入門	2
イタリア語入門(1)	1	イタリア語入門(2)	1
日本文化演習(1)	1	日本文化演習(2)	1

日本文化演習 (3)	1	日本文化演習 (4)	1
卒業論文演習 (1)	1	卒業論文演習 (2)	1
卒業論文	6		

(2) 文学部英語英米文化学科

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
英語圏文化入門	2	英米文学の世界	2
英語研究入門A	2	英語研究入門B	2
Teacher-Student English Interview	1	Reading/Writing (1)	1
Reading/Writing (2)	1	Reading/Writing (3)	1
Reading/Writing (4)	1	Reading/Writing (5)	1
Reading/Writing (6)	1	Reading/Writing (7)	1
Reading/Writing (8)	1	Speaking/Writing (1)	1
Speaking/Writing (2)	1	Speaking/Writing (3)	1
Speaking/Writing (4)	1	Speaking/Writing (5)	1
Speaking/Writing (6)	1	Speaking/Writing (7)	1
Speaking/Writing (8)	1	Listening/Pronunciation (1)	1
Listening/Pronunciation (2)	1	Extensive English (1)	1
Extensive English (2)	1	Business Communication (1)	1
Business Communication (2)	1	Business Communication (3)	1
Business Communication (4)	1	Business Communication (5)	1
Business Communication (6)	1	Business Communication (7)	1
Business Communication (8)	1	English Grammar (1)	1
English Grammar (2)	1	留学のための英語	1
基礎英文法	1	TOEFL・IELTS演習	1
Advanced Speaking A	1	Advanced Speaking B	1
通訳入門 (1)	2	通訳入門 (2)	2
翻訳入門 (1)	2	翻訳入門 (2)	2
翻訳演習 (1)	1	翻訳演習 (2)	1
翻訳演習 (3)	1	翻訳演習 (4)	1
英語教育研究A	2	英語教育研究B	2
Topics in Language and Culture A	2	Topics in Language and Culture B	2
Topics in Language and Culture C	2	Topics in Language and Culture D	2
アメリカ経済論	2	アメリカ社会論	2
異文化間コミュニケーション	2	異文化理解A	2
異文化理解B	2	異文化理解C	2
異文化理解D	2	異文化理解E	2
異文化理解F	2	古典文化講読 (1)	2
古典文化講読 (2)	2	古典文学講読 (1)	2
古典文学講読 (2)	2	近現代文化講義 (1)	2
近現代文化講義 (2)	2	現代芸術論 (1)	2
現代芸術論 (2)	2	民族と芸術	2
金城シネマ	2	日本の多文化事情	2
世界と日本のクラシック	2	中国語文化入門	2
フランス語文化入門	2	ドイツ語文化入門	2
イタリア文化入門	2	地中海文化入門	2
日本語教育入門	2	日本語教授法	2
世界の日本語教育	2	音楽鑑賞A	2
音楽鑑賞B	2	邦楽鑑賞	2
イタリア語入門 (1)	1	イタリア語入門 (2)	1
イギリス文化概論	2	イギリス文学概論	2

アメリカ文化概論	2	アメリカ文学概論	2
英米文化研究A	2	英米文化研究B	2
英米文化研究C	2	英米文化研究D	2
英米文化研究E	2	英米文学研究A	2
英米文学研究B	2	英米文学研究C	2
英米文学研究D	2	英米文学研究E	2
英米文学研究F	2	英米文学研究G	2
日英文化研究A	2	日英文化研究B	2
日米文化研究A	2	日米文化研究B	2
ヨーロッパの文化と芸術	2	西洋美術史A	2
西洋美術史B	2	西洋音楽史入門	2
英語構造研究(1)	2	英語構造研究(2)	2
英語音声研究(1)	2	英語音声研究(2)	2
英語語彙研究	2	英語意味研究	2
言語コミュニケーション理論A	2	言語コミュニケーション理論B	2
言語習得特論A	2	言語習得特論B	2
英語学特殊研究A	2	英語学特殊研究B	2
日本語学特殊講義A(1)	2	日本語学特殊講義A(2)	2
日本語学特殊講義B(1)	2	日本語学特殊講義B(2)	2
日本語学特殊講義C	2	日本語の音声・文字	2
日本語文法	2	日本語教育の諸問題	2
世界の英語	2	社会言語学研究	2
Cross-Cultural Communication	2	早期英語教育研究	2
早期英語教育教材研究	2	Classroom English	1
早期英語教育実習	1	小学校英語	2
English for Hospitality	1	コミュニケーションスキル	1
エアラインビジネス論	2	エアラインサービス論	2
ホスピタリティ論	2	サービスコミュニケーション論	2
サービスコミュニケーション演習	1	エアライン実地研修	1
通訳演習A(1)	1	通訳演習A(2)	1
通訳演習A(3)	1	通訳演習A(4)	1
通訳演習B(1)	1	通訳演習B(2)	1
通訳演習B(3)	1	通訳演習B(4)	1
基礎演習(1)	1	基礎演習(2)	1
専門演習(1)	1	専門演習(2)	1
専門演習(3)	1	専門演習(4)	1
卒業研究	6		

(3) 文学部外国語コミュニケーション学科

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
海洋コース入門	2	大陸コース入門	2
ディベート入門	2	ディベートA	2
ディベートB	2	ディベートC	2
ディベートD	2	中国語文化入門	2
フランス語文化入門	2	ドイツ語文化入門	2
Grammar(1)	1	Grammar(2)	1
Reading(1)	1	Reading(2)	1
Conversation(1)	1	Conversation(2)	1
基礎中国語(1)	1	基礎中国語(2)	1
コミュニケーション中国語A(1)	1	コミュニケーション中国語A(2)	1
コミュニケーション中国語B(1)	1	コミュニケーション中国語B(2)	1

基礎フランス語（１）	1	基礎フランス語（２）	1
コミュニケーションフランス語A（１）	1	コミュニケーションフランス語A（２）	1
コミュニケーションフランス語B（１）	1	コミュニケーションフランス語B（２）	1
基礎ドイツ語（１）	1	基礎ドイツ語（２）	1
コミュニケーションドイツ語A（１）	1	コミュニケーションドイツ語A（２）	1
コミュニケーションドイツ語B（１）	1	コミュニケーションドイツ語B（２）	1
Reading and Writing（１）	1	Reading and Writing（２）	1
TOEIC Intermediate（１）	1	TOEIC Intermediate（２）	1
Oral Presentation（１）	1	Oral Presentation（２）	1
中級中国語（１）	1	中級中国語（２）	1
読解中級中国語（１）	1	読解中級中国語（２）	1
コミュニケーション中級中国語（１）	1	コミュニケーション中級中国語（２）	1
中級フランス語（１）	1	中級フランス語（２）	1
読解中級フランス語（１）	1	読解中級フランス語（２）	1
コミュニケーション中級フランス語（１）	1	コミュニケーション中級フランス語（２）	1
中級ドイツ語（１）	1	中級ドイツ語（２）	1
読解中級ドイツ語（１）	1	読解中級ドイツ語（２）	1
コミュニケーション中級ドイツ語（１）	1	コミュニケーション中級ドイツ語（２）	1
Language Camp	1	Advanced English A	1
Advanced English B	1	上級中国語（１）	1
上級中国語（２）	1	上級フランス語（１）	1
上級フランス語（２）	1	上級ドイツ語（１）	1
上級ドイツ語（２）	1	TOEIC入門	1
TOEFL A	1	TOEFL B	1
英語スピーチ強化講座A	1	英語スピーチ強化講座B	1
English Communication（１）	1	English Communication（２）	1
英語圏セメスター留学	10	海外キャリアトレーニング（１）	2
海外キャリアトレーニング（２）	2	検定中国語A	1
検定中国語B	1	検定中国語C	1
検定フランス語A	1	検定フランス語B	1
検定フランス語C	1	検定ドイツ語A	1
検定ドイツ語B	1	検定ドイツ語C	1
実践中国語A	1	実践中国語B	1
実践中国語C	1	実践中国語D	1
実践中国語E	1	実践中国語F	1
実践フランス語A	1	実践フランス語B	1
実践フランス語C	1	実践フランス語D	1
実践フランス語E	1	実践フランス語F	1
実践ドイツ語A	1	実践ドイツ語B	1
実践ドイツ語C	1	実践ドイツ語D	1
実践ドイツ語E	1	実践ドイツ語F	1
コミュニケーション上級中国語（１）	1	コミュニケーション上級中国語（２）	1
コミュニケーション上級フランス語（１）	1	コミュニケーション上級フランス語（２）	1
コミュニケーション上級ドイツ語（１）	1	コミュニケーション上級ドイツ語（２）	1
比較文化研究	2	テキスト論	2
社会と文化	2	文化社会学研究	2
文化人類学研究	2	社会言語学研究	2
ポストコロニアル研究	2	民族と芸術	2
ジェンダー研究	2	中国古代文化研究	2
中国近現代社会研究	2	華僑・華人文化研究	2
近世フランス文化研究	2	近現代フランス文化研究	2

カリブ海・アフリカ文化研究	2	中世・近世・近代ドイツ文化研究	2
近現代ドイツ文化研究	2	スイス・オーストリア文化研究	2
イタリア文化入門	2	地中海文化入門	2
異文化理解A	2	異文化理解B	2
異文化理解C	2	異文化理解D	2
異文化理解E	2	異文化理解F	2
日本語教育入門	2	日本語教授法	2
世界の日本語教育	2	日本語の音声・文字	2
日本語文法	2	日本語教育の諸問題	2
日本語教育演習A	1	日本語教育演習B	1
日本語学概論（1）	2	日本語学概論（2）	2
日本語学講読（1）	2	日本語学講読（2）	2
日本語史（1）	2	日本語史（2）	2
日本語学講義A	2	日本語学講義B	2
日本語学講義C	2	日本語学講義D	2
日本語学講義E	2	国内日本語教育実習	2
海外日本語教育実習	2	英語学	2
英米文学の世界	2	世界の英語	2
日英文化研究A	2	日英文化研究B	2
日米文化研究A	2	日米文化研究B	2
イギリス文化概論	2	アメリカ文化概論	2
イギリス文学概論	2	アメリカ文学概論	2
海洋文化研修	2	海外英語研修	2
海外中国語研修	2	海外フランス語研修	2
海外ドイツ語研修	2	海外短期研修	2
古典文化講読（1）	2	古典文化講読（2）	2
古典文学講読（1）	2	古典文学講読（2）	2
近現代文化講義（1）	2	近現代文化講義（2）	2
現代芸術論（1）	2	現代芸術論（2）	2
英米文化研究A	2	英米文化研究B	2
英米文化研究C	2	英米文化研究D	2
英米文化研究E	2	英語語彙研究	2
英語意味研究	2	金城シネマ	2
Cross-Cultural Communication	2	日本の多文化事情	2
世界と日本のクラシック	2	ヨーロッパの文化と芸術	2
イタリア語入門（1）	1	イタリア語入門（2）	1
西洋音楽史入門	2	西洋美術史A	2
西洋美術史B	2	音楽鑑賞A	2
音楽鑑賞B	2	邦楽鑑賞	2
基礎演習（1）	1	基礎演習（2）	1
専門演習（1）	1	専門演習（2）	1
専門演習（3）	1	専門演習（4）	1
専門演習（5）	1	専門演習（6）	1
卒業研究プロジェクト	6		

(4) 文学部音楽芸術学科

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
芸術学	2	ソルフェージュ	2
音楽理論	2	西洋音楽史A	2
西洋音楽史B	2	ピアノ奏法（1）	2
ピアノ奏法（2）	2	ピアノ奏法（3）	2

ピアノ奏法 (4)	2	ピアノ奏法 (5)	2
ピアノ奏法 (6)	2	ピアノ奏法 (7)	2
ピアノ奏法 (8)	2	声楽 (1)	2
声楽 (2)	2	声楽 (3)	2
声楽 (4)	2	声楽 (5)	2
声楽 (6)	2	声楽 (7)	2
声楽 (8)	2	管楽器奏法 (1)	2
管楽器奏法 (2)	2	管楽器奏法 (3)	2
管楽器奏法 (4)	2	管楽器奏法 (5)	2
管楽器奏法 (6)	2	管楽器奏法 (7)	2
管楽器奏法 (8)	2	音楽芸術学演習 (1)	1
音楽芸術学演習 (2)	1	音楽芸術学演習 (3)	1
音楽芸術学演習 (4)	1	卒業演奏・卒業作品・卒業論文	6
和声	2	管弦楽編曲法	2
合唱編曲法	2	作曲学	2
指揮法	2	合唱	2
合唱指導法	2	吹奏楽指導法	2
副科ピアノ奏法A	1	副科ピアノ奏法B	1
副科声楽 (1)	1	副科声楽 (2)	1
副科管楽器	1	ピアノアンサンブルA	2
ピアノアンサンブルB	2	室内アンサンブルA	2
室内アンサンブルB	2	オペラアンサンブル	2
ステージアクティング	2	オペラ演習	2
声楽アンサンブル	2	管楽アンサンブルA	2
管楽アンサンブルB	2	管楽アンサンブルC	2
管楽アンサンブルD	2	邦楽A	1
邦楽B	1	発音法	2
自己表現トレーニング	2	演奏家のための身体感覚レッスン	2
ピアニストのための脱力法	2	声楽伴奏演習	2
ソリスト育成特別レッスンA (1)	1	ソリスト育成特別レッスンA (2)	1
ソリスト育成特別レッスンB (1)	1	ソリスト育成特別レッスンB (2)	1
ソリスト育成特別レッスンC (1)	1	ソリスト育成特別レッスンC (2)	1
ピアノ指導法 (1)	2	ピアノ指導法 (2)	2
ピアノ教室レッスン実習	2	ヤマハグレード取得講座A	1
ヤマハグレード取得講座B	1	ヤマハグレード取得講座C	1
ヤマハグレード取得講座D	1	ヤマハグレード取得講座E	1
ヤマハグレード取得講座F	1	ヤマハグレード取得講座G	1
ヤマハグレード取得講座H	1	ヤマハグレード取得講座I	1
古典舞踏	2	リトミック	2
ヨーロッパの文化と芸術	2	ドイツ語文化入門	2
フランス語文化入門	2	イタリア文化入門	2
イタリア語入門 (1)	1	イタリア語入門 (2)	1
西洋音楽史入門	2	西洋美術史A	2
西洋美術史B	2	音楽と文学	2
音楽と美術	2	日本音楽論	2
民族音楽論	2	音楽鑑賞A	2
音楽鑑賞B	2	邦楽鑑賞	2
金城シネマ	2	世界と日本のクラシック	2
民族と芸術	2	地中海文化入門	2
中国語文化入門	2	日本語教育入門	2
日本語教授法	2	世界の日本語教育	2

Cross-Cultural Communication	2	日本の多文化事情	2
英米文化研究A	2	英米文化研究B	2
英米文化研究C	2	英米文化研究D	2
英米文化研究E	2	英語語彙研究	2
英語意味研究	2	古典文化講読(1)	2
古典文化講読(2)	2	古典文学講読(1)	2
古典文学講読(2)	2	近現代文化講義(1)	2
近現代文化講義(2)	2	現代芸術論(1)	2
現代芸術論(2)	2		

(5) 生活環境学部生活マネジメント学科

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
生活経営学	2	生活経済学(1)	2
消費者教育論	2	生活情報論	2
消費者政策論(1)	2	生活と法律(1)	2
家族関係学(1)	2	家族福祉学	2
生活統計学(1)	2	情報処理論	2
生活情報システム論	2	情報処理演習(1)	1
情報処理演習(2)	1	生活設計論	2
生活調査法(1)	2	衣生活概論	2
住居学概論(製図を含む)	2	被服製作実習	2
食物学(栄養学・食品学を含む)	2	調理実習	2
保育学(実習及び家庭看護を含む)	2	家庭電気・機械	2
生活経済学(2)	2	消費マーケティング論	2
商法概論	2	消費者法	2
消費者心理学	2	ビジネス法務	2
消費者行動論	2	ファイナンシャルプランニングA	2
ファイナンシャルプランニングB	2	ファイナンシャルプランニングC	2
ファイナンシャルプランニングD	2	消費者商品学	2
消費生活コンサルティング論	2	消費者運動論	2
消費者政策論(2)	2	消費財流通論	2
建築法規	2	環境ビジネス論	2
金融商品学	2	簿記基礎	2
生活リスクマネジメント論	2	インターネットビジネス	2
生活統計学(2)	2	男女共同参画社会論	2
共生社会論	2	情報社会論(1)	2
データベース技術	2	生活調査法(2)	2
家族関係学(2)	2	家族支援論	2
公的扶助論	2	家族心理学	2
子どもの発達と生活環境	2	ライフコース論	2
ユニバーサルデザイン論	2	障害者教育論	2
介護福祉論	2	生活と法律(2)	2
行政法	2	行政学	2
家族法	2	刑法	2
国際社会と法	2	法律学概論	2
経済学概論	2	政治学概論	2
情報社会論(2)	2	情報倫理論	2
プログラミング基礎	2	インターネットプログラミング	2
Webデザイン演習	1	情報通信ネットワーク論	2
マルチメディア表現技術	2	モデル化とシミュレーション	2
情報職業論	2	ソーシャルネットワークサービス論	2

衣生活マネジメント論	2	住生活マネジメント論	2
食生活マネジメント論	2	生活マネジメント特論A	2
生活マネジメント特論B	2	生活マネジメント特論C	2
入門演習	1	基本演習(1)	1
基本演習(2)	1	専門演習	2
卒業論文	4		

(6) 生活環境学部環境デザイン学科

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
デザイン基礎実習(1)	2	デザイン基礎実習(2)	2
造形デザイン実習A	2	造形デザイン実習B	2
造形デザイン実習C	1	色彩学	2
色彩学演習	1	カラーコーディネート特別演習	1
人間工学	2	インクルーシブデザイン論	2
インクルーシブデザイン特論	2	消費マーケティング論	2
消費者心理学	2	消費財流通論	2
インターネットビジネス	2	現代家族論(家族関係学を含む)	2
生活経営学(家庭経済学を含む)	2	衣生活概論	2
食物学(栄養学・食品学を含む)	2	住居学概論(製図を含む)	2
保育学(実習及び家庭看護を含む)	2	家庭電気・機械	2
被服製作実習	2	調理実習	2
アパレル構成学	2	着心地の科学	2
アパレル生産システム	2	テキスタイル材料学(1)	2
テキスタイル材料学(2)	2	洗浄科学	2
染色加工学	2	ファッションデザイン論	2
ファッション心理学	2	服飾文化史	2
ファッションビジネス	2	市場調査法	2
消費科学	2	環境生理学実験	2
テキスタイル材料学実験	2	洗浄・染色加工実験	2
ファッションデザイン画(1)	1	ファッションデザイン画(2)	1
アパレル企画実習	2	アパレル生産システム実習	2
テキスタイル実習A	1	テキスタイル実習B	1
コンピュータパターンメイキング	1	コンピュータテキスタイルデザイン	1
バーチャルファッションコーディネート	1	人体とパターンメイキング	2
応用パターンメイキング	1	ドレーピングの基礎	1
ファッション造形実習(1)	2	ファッション造形実習(2)	2
ファッション造形実習(3)	2	ファッション造形実習(4)	2
インクルーシブデザイン演習	1	ファッションビジネス演習	1
アパレル品質管理演習	1	建築数学	1
空間デザイン概論	2	住居計画	2
住生活論	2	建築計画学	2
居住福祉論	2	インテリアデザイン論	2
空間デザイン特論A	2	空間デザイン特論B	2
日本建築史	2	西洋建築史	2
近代建築史	2	インテリアデザイン史	2
室内環境学(1)	2	室内環境学(2)	2
建築設備	2	建築一般構造	2
建築構造力学(1)	2	建築構造力学(2)	2
建築構造設計演習	1	建築材料学	2
建築材料学実験	2	都市計画学	2
都市設計論	2	造園学	2

インテリア材料学	2	建築法規	2
建築施工	2	建築測量	1
空間デザイン基礎製図	2	空間デザイン基礎実習	2
空間デザイン実習(1)	2	空間デザイン実習(2)	2
空間デザイン実習A	2	空間デザイン実習B	2
空間デザイン実習C	2	インテリア空間デザイン実習A	2
インテリア空間デザイン実習B	2	空間CAD実習(基礎)	1
空間CAD実習(3D)	2	建築構造力学演習	1
建築学演習	1	入門演習	1
基礎演習	1	環境デザイン演習	1
卒業研究演習	2	卒業論文・制作	6
環境デザイン特別研修A	2	環境デザイン特別研修B	2
環境デザイン学外研修A	1	環境デザイン学外研修B	1

(7) 生活環境学部食環境栄養学科

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
基礎化学	2	基礎有機化学	2
分析化学	2	食環境論	2
医療統計学	2	情報処理	1
栄養教育実習(事前事後指導を含む)	2	管理栄養士特論A	2
管理栄養士特論B	2	管理栄養士特論C	2
管理栄養士特論D	2	現代家族論(家族関係学含む)	2
生活経営学(家庭経済学を含む)	2	衣生活概論	2
住居学概論(製図を含む)	2	保育学(実習及び家庭看護を含む)	2
家庭電気・機械	2	被服製作実習	2
社会保健学	2	公衆衛生学(1)	2
公衆衛生学(2)	2	病原微生物学	2
解剖生理学(1)	2	解剖生理学(2)	2
解剖生理学実験(1)	1	解剖生理学実験(2)	1
病理学総論	2	病理学各論	2
生化学(1)	2	生化学(2)	2
生化学実験(1)	1	生化学実験(2)	1
食品学(1)	2	食品学(2)	2
食品学実験(1)	1	食品学実験(2)	1
食品衛生学	2	食品衛生学実験	1
調理学	2	調理学実習(1)	1
調理学実習(2)	1	調理学実習(3)	1
食品機能学	2	基礎栄養学	2
栄養学実習	1	応用栄養学総論	2
母子栄養学	2	加齢栄養学	2
応用栄養学実習	1	栄養教育原論	2
栄養教育各論	2	栄養教育論実習	1
栄養カウンセリング論	2	栄養カウンセリング実習	1
臨床栄養学	2	栄養アセスメント論	2
臨床栄養管理論	2	疾病別栄養管理論	2
疾病別栄養管理実習	1	臨床栄養学実習	1
臨床栄養学特論	2	公衆栄養学(1)	2
公衆栄養学(2)	2	公衆栄養学実習	1
給食経営管理論	2	フードマネージメント論	2
給食経営管理実習	1	学校の食指導法	2
食教育指導法	2	食システム論	2

子どもの発達と生活環境	2	社会心理学概論	2
臨床心理学概論	2	栄養総合演習	2
臨地実習	4	食環境学演習（1）	1
食環境学演習（2）	1	食環境学演習（3）	1
卒業論文	8		

(8) 国際情報学部国際情報学科

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
国際情報概論	2	W L I A	1
W L I B	1	K I T（1）	1
K I T（2）	1	K I T（3）	2
K I T（4）	2	海外キャリアトレーニング（1）	2
海外キャリアトレーニング（2）	2	異文化体験ひろば	2
世界遺産研究	2	異文化間コミュニケーション	2
国際社会と法	2	国際関係学A	2
国際関係学B	2	民族と宗教	2
国際人権法	2	国際協力論	2
NGO・NPO研究	2	グローバル社会と女性	2
グローバル人口移動論	2	グローバル都市論	2
地域研究総論	2	地誌	2
人文地理学	2	地域環境論	2
現代日本と欧米	2	日本社会論	2
韓国社会論	2	アメリカ社会論	2
アジアの社会と文化	2	ヨーロッパの社会思想	2
旅行業務研究	3	観光ビジネス研究	2
観光文化論	2	観光サービス論	2
観光サービス研究	2	グローバルスタディーズ特論	2
社会学基礎論	2	現代社会論	2
政治学（平和と暴力）	2	法律学	2
日本史	2	外国史A	2
外国史B	2	ヨーロッパ現代史	2
自然環境論	2	心理学概説	2
マイノリティ論	2	社会調査入門	2
社会調査の技法	2	社会調査の実際	2
社会調査統計	2	質的調査論	2
社会調査実習	2	経済のグローバリゼーション（経済学）	2
アジア経済論	2	中国の社会経済	2
アメリカ経済論	2	国際ビジネス事情	2
国際経済学	2	世界経済	2
開発経済学	2	Business English A	2
Business English B	2	Business English C	2
Business English D	2	Business English E	2
Business English F	2	Global Issues A	2
Global Issues B	2	通関業務研究	3
貿易実務研究	2	W L I C	2
W L I D	2	W L I E	2
W L I F	2	Integrated Skills A	2
Integrated Skills B	2	Integrated Skills C	2
Integrated Skills D	2	Integrated Skills E	2
Integrated Skills F	2	リーダーシップ研究	2
経営学総論	2	起業論	2

インターネットビジネス論	2	ソーシャルビジネス論A	2
ソーシャルビジネス論B	2	環境ビジネス論	2
簿記・会計（1）	2	簿記・会計（2）	2
経営管理論	2	マーケティング論	2
市場調査論	2	広告論	2
流通論	2	消費者行動論	2
広告コピー制作	2	CM制作	2
マスコミュニケーション論	2	メディア論	2
ジャーナリズム論	2	放送番組制作論	2
身体メディア論	2	ソーシャルメディア論	2
アナウンス技術A	2	アナウンス技術B	2
自己表現技術	2	デザイン論	2
映像コンテンツビジネス論	2	カラーコーディネート論	2
イラストレーション技術	2	DTP技術	2
Webデザイン技術A	2	Webデザイン技術B	2
CG論	2	アニメーション技術	2
デジタルコンテンツ制作技術	2	デジタルミュージック技術	2
マルチメディア論	2	3D-CG技術	2
映像論	2	情報社会論	2
情報システム論	2	情報技術論	2
情報ネットワーク論	2	情報処理論	2
プログラミングA	2	プログラミングB	2
情報教育論	2	情報職業論	2
情報倫理論	2	モデル化とシミュレーション	2
国際情報演習（1）	1	国際情報演習（2）	1
国際情報演習（3）	2	国際情報演習（4）	2
卒業論文・卒業制作	4		

(9) 人間科学部現代子ども教育学科

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
人間科学概論	2	生命倫理	2
現代子ども教育学概論	2	心理学概論	2
社会福祉概論（1）	2	現代社会問題	2
教育人間学	2	幼児教育学	2
生涯発達心理学概論	2	生涯学習論	2
子ども発達援助論	2	教育原論	2
視聴覚教育	2	キリスト教教育学	2
教育方法論	2	幼小連携論	2
特別支援教育論	2	外国人幼児児童教育論	2
教育心理学研究法	2	教育心理学実験A	2
教育心理学実験B	2	教育心理学測定法	2
学習心理学	2	認知心理学	2
発達心理学	2	人格心理学	2
乳幼児期発達心理学	2	児童・青年期発達心理学	2
生理心理学	2	神経心理学	2
子どもの理解と援助	1	障害児保育	2
社会福祉	2	子ども家庭福祉	2
子ども家庭支援論	2	子ども家庭支援の心理学	2
障害児援助論	2	障害者教育論	2
障害児発達論	2	子育て支援	1
臨床心理学概論	2	子ども理解と発達相談	2

子どもの保健	2	子どもの健康と安全	1
子ども体育A	2	子ども体育B（演習）	1
子どもの食と栄養	2	遊戯療法	2
社会的養護A	2	社会的養護B	1
保育原理	2	乳児保育A	2
乳児保育B	1	保育者論	2
保育の計画と評価	2	発達美術論（演習）	1
児童文学（演習）	1	子ども文化論A	2
子ども文化論B（演習）	1	音楽A	1
音楽B	1	音楽C	1
音楽D	1	図画工作A	1
図画工作B	1	卒業論文・卒業制作	6
人間科学基礎演習	2	子ども学基礎演習	1
現代子ども教育学演習（1）	2	現代子ども教育学演習（2）	2
教育者論	2	保育内容総論	2
教育課程計画法	2	保育内容（人間関係）	2
保育内容（環境A）	1	保育内容（環境B）	1
保育内容（言葉）	2	保育内容（健康）	2
保育内容（表現・音楽A）	1	保育内容（表現・音楽B）	1
保育内容（表現・美術A）	1	保育内容（表現・美術B）	1
幼児教育指導法	2	保育実践演習	2
国語科研究	1	社会科研究	1
算数科研究	1	理科研究	1
生活科研究	1	音楽科研究	1
図画工作研究	1	家庭科研究	1
体育科研究	1	英語科研究	1
国語科教育法	2	社会科教育法	2
算数科教育法	2	理科教育法	2
生活科教育法	2	音楽科教育法	2
図画工作教育法	2	家庭科教育法	2
体育科教育法	2	英語科教育法	2
道德教育の方法（初等）	2	特別活動の指導法（初等）	2
総合的な学習の時間の指導法（初等）	2	生徒・進路指導とキャリア教育の理論と方法（初等）	2
保育実習指導A	1	保育実習指導B	1
保育実習指導C	1	保育実習指導D	1
保育実習A	2	保育実習B	2
保育実習C	2	保育実習D	2
幼稚園教育実習法	1	小学校教育実習法	1
幼稚園教育実習A	2	幼稚園教育実習B	2
小学校教育実習	4	教職実践演習（幼小）	2
保育・教職演習A	2	保育・教職演習B	2
英語学概論	2	英語音声学（1）	2
英語音声学（2）	2	英米文学入門	2
英語コミュニケーション論	2	コミュニケーション英文法（1）	2
コミュニケーション英文法（2）	2	英語コミュニケーションの技法A	1
英語コミュニケーションの技法B	1	英語コミュニケーションの技法C	1
英語コミュニケーションの技法D	1	英語コミュニケーションの技法E	1
英語コミュニケーションの技法F	1	英語コミュニケーションの技法G	1
英語コミュニケーションの技法H	1	比較文化論	2

(10) 人間科学部 多元心理学科

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
人間科学概論	2	生命倫理	2
現代子ども教育学概論	2	心理学概論	2
社会福祉概論(1)	2	現代社会問題	2
多元心理学入門	2	社会学概論	2
多元心理学総論	2	心理学統計法	2
心理学研究法	2	心理学実験A	2
心理学実験B	2	心理学実験演習C	2
データ解析法A	2	データ解析法B	2
社会調査の設計と技法	2	社会心理学概論	2
社会・集団・家族心理学	2	態度変容論	2
コミュニティ社会心理学	2	実験社会心理学	2
社会調査論	2	メディア心理学	2
先端社会心理学	2	司法・犯罪心理学	2
交通心理学	2	健康心理学概論	2
生理心理学(神経・生理心理学A)	2	音楽心理学	2
知覚・認知心理学	2	人間関係論	2
生涯発達心理学概論	2	ポジティブ心理学	2
ストレスマネジメント	2	健康・医療心理学	2
健康栄養学	2	生涯スポーツ心理学	2
キャリア心理学概論	2	キャリア・カウンセリング	2
キャリア・カウンセリング演習	2	産業心理学(産業・組織心理学A)	2
産業カウンセリング	2	産業カウンセリング演習	2
組織心理学(産業・組織心理学B)	2	経営心理学	2
リーダーシップ論	2	ヒューマン・リソース・マネジメント	2
臨床心理学概論	2	カウンセリング論	2
心理演習	2	心理療法論(心理学的支援法A)	2
遊戯療法	2	認知行動療法	2
イメージ表現療法	2	感情・人格心理学	2
精神分析学	2	心理的アセスメント	2
投映法	2	教育心理学	2
教育・学校心理学	2	学校カウンセリング	2
特別支援教育と障害児援助(心理学的支援法B)	2	障害者・障害児心理学	2
発達心理学	2	学習・言語心理学	2
児童福祉	2	発達臨床心理学	2
福祉心理学	2	医学概論(人体の構造と機能及び疾病)	2
精神疾患とその治療(1)	2	精神疾患とその治療(2)	2
精神保健の課題と支援(1)	2	精神保健の課題と支援(2)	2
神経心理学(神経・生理心理学B)	2	精神病理学	2
精神保健福祉の理論と相談援助の展開C	2	精神保健福祉の理論と相談援助の展開D	2
精神保健福祉に関する制度とサービス(1)(関係行政論)	2	精神保健福祉に関する制度とサービス(2)	2
精神障害者の生活支援システム	2	人間科学基礎演習	2
多元心理学基礎演習	2	多元心理学演習(1)	2
多元心理学演習(2)	2	卒業論文	6
社会福祉概論(2)	2	相談援助の基盤と専門職	4
精神科ソーシャルワーク論	2	精神保健福祉の理論と相談援助の展開A	2
精神保健福祉の理論と相談援助の展開B	2	精神保健福祉援助演習(1)	1
精神保健福祉援助演習(2)	1	精神保健福祉援助演習(3)	1
精神保健福祉援助実習事前指導	1	精神保健福祉援助実習事後指導(1)	1
精神保健福祉援助実習事後指導(2)	1	精神保健福祉援助実習	3

医療福祉論	2	社会保障論	4
権利擁護と成年後見	2	福祉行財政と福祉計画	2
公的扶助論	2	地域福祉論（1）	2
地域福祉論（2）	2	障害者福祉論	2
公認心理師の職責	2	心理実習（1）	1
心理実習（2）	1	日本史	2
外国史	2	世界のすがた・日本のすがた（地誌）	2
地理学	2	地域からみる世界の動き（地域社会研究）	2

(11) 人間科学部コミュニティ福祉学科

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
人間科学概論	2	生命倫理	2
現代子ども教育学概論	2	心理学概論	2
社会福祉概論（1）	2	現代社会問題	2
コミュニティ福祉論	2	ソーシャルウーマン総論	2
社会福祉援助技術論（1）	2	相談援助演習（1）	1
ソーシャルウーマンプロジェクトA	2	ソーシャルウーマンプロジェクトB	2
ソーシャルウーマンプロジェクトC（1）	2	ソーシャルウーマンプロジェクトC（2）	2
相談援助実習指導（1）	2	相談援助実習指導（2）	2
ソーシャルウーマンプロジェクトC（3）	3	ソーシャルウーマンプロジェクトD（1）	2
ソーシャルウーマンプロジェクトD（2）	2	手話（1）	2
手話（2）	2	障害者スポーツ論	2
グローバル社会論	2	スポーツと社会	2
CSR論	2	ファンドレイジング演習	1
社会学概論	2	社会調査論	2
心理学概説	2	マイノリティと社会	2
生涯スポーツ心理学	2	ライフコース論	2
地域社会入門	2	協同組合論	2
ワークショップとファシリテーション	1	スポーツと福祉	2
地域福祉論（1）	2	地域福祉論（2）	2
障害者教育論	2	福祉行財政と福祉計画	2
NPO・NGO論	2	コミュニティ社会心理学	2
居住福祉論	2	現代の若者と女性	2
女性起業論	2	ソーシャルマーケティング論	2
ソーシャルイノベーション論	2	リハビリテーションとトレーニング	2
社会保障論	4	医学概論	2
福祉サービスの組織と経営	2	ソーシャルビジネス論A	2
ソーシャルビジネス論B	2	リーダーシップ論	2
社会福祉概論（2）	2	公的扶助論	2
就労支援サービス	2	権利擁護と成年後見	2
司法福祉	2	医療福祉論	2
老人福祉論	2	介護福祉論	2
児童福祉論	2	障害者福祉論	2
相談援助の基盤と専門職	4	社会福祉援助技術論（2）	2
社会福祉援助技術論（3）	2	社会福祉援助技術論（4）	2
精神疾患とその治療（1）	2	精神疾患とその治療（2）	2
精神保健の課題と支援（1）	2	精神保健の課題と支援（2）	2
精神科ソーシャルワーク論	2	子ども発達援助論	2
社会的養護A	2	相談援助演習（2）	1
相談援助演習（3）	1	相談援助演習（4）	1

相談援助演習（５）	1	相談援助実習指導（３）	2
相談援助実習指導（４）	2	相談援助実習	4
ソーシャルワーク特講A	2	ソーシャルワーク特講B	2
ソーシャルワーク特講C	2	ソーシャルワーク卒業研究	2
卒業論文	6	人間科学基礎演習	1
コミュニティ福祉基礎演習	1	コミュニティ福祉演習（１）	2
コミュニティ福祉演習（２）	2		

(12) 薬学部薬学科

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
薬学概論（１）	1	薬学概論（２）	1
基礎化学（１）	1	基礎化学（２）	1
基礎生物学	1	有機化学（１）	1
有機化学（２）	1	薬品物理化学	1
機能形態学（１）	1	機能形態学（２）	1
機能形態学（３）	1	生化学（１）	1
生化学（２）	1	環境科学	1
分析化学（１）	1	分析化学（２）	1
有機化学（３）	1	有機化学（４）	1
生化学（３）	1	衛生化学（１）	1
衛生化学（２）	1	微生物学	1
免疫学	1	応用薬学	1
医用統計学	1	公衆衛生学	1
薬理学（１）	1	薬理学（２）	1
薬理学（３）	1	薬理学（４）	1
製剤学（１）	1	製剤学（２）	1
薬物動態学	1	生物薬剤学	1
医療薬学A	1	医療薬学B	1
生薬学（１）	1	生薬学（２）	1
薬用資源学	1	医薬品化学（１）	1
医薬品化学（２）	1	薬物治療学A	1
薬物治療学B	1	薬事関係法規・制度	1
化粧品科学A	1	医薬品情報学（１）	1
医薬品情報学（２）	1	環境衛生学	1
食品衛生学	1	分子生物学	1
生理化学	1	漢方概論	1
病理学	1	薬品分析学	1
薬学英語（１）	1	薬学英語（２）	1
機器分析学	1	構造解析学	1
放射薬学	1	感染症学	1
疾病と病態	1	臨床化学	1
看護学総論	1	医療倫理	1
コミュニケーション技法	1	ゲノム薬学	1
臨床薬物治療学	1	医療検査概論	1
社会薬学	1	緩和医療入門	1
実用薬学英語	1	バイオテクノロジー	1
臨床栄養化学	1	サプリメント開発概論	1
化粧品科学B	1	化粧品学	1
化学系実習（１）	1	化学系実習（２）	1
生物系実習（１）	1	生物系実習（２）	1
物理・分析系実習	1	衛生化学系実習	1

薬理系実習	1	薬剤・製剤系実習	1
実務実習	20	薬学セミナー（1）	1
薬学セミナー（2）	1	薬学セミナー（3）	2
薬学セミナー（4）	2	薬学セミナー（5）	2
薬学セミナー（6）	1	薬学PBL（1）	2
薬学PBL（2）	2	薬学TBL	1
薬学CBL	1	基礎薬学演習A	1
基礎薬学演習B	1	薬学計算演習	1
薬学演習	4	事前学習（1）	8
事前学習（2）	2	薬学総合演習	9
卒業研究	10	基礎物理学	1
地学	1	地学実習	1

(13) 看護学部 看護学科

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
基礎ゼミナール	1	生命倫理	1
看護英語コミュニケーション（1）	1	看護英語コミュニケーション（2）	1
看護英語コミュニケーション（3）	1	解剖生理学A（人体の構造）	1
解剖生理学B（人体の機能）	1	解剖生理学C（生殖・発達・加齢）	1
生化学	2	病態生理学	1
薬理学	2	栄養学	1
疾病・病態・治療論A（循環器・呼吸器・消化器）	1	疾病・病態・治療論B（内分泌・腎・生殖器）	1
疾病・病態・治療論C（血液・免疫・感染）	1	疾病・病態・治療論D（精神・小児）	1
疾病・病態・治療論E（運動器・神経・検査）	1	臨床心理学	1
カウンセリング	1	健康科学概論	1
公衆衛生看護学概論	2	社会保障論	1
疫学	2	保健統計学	2
保健医療福祉行政論（1）	2	保健医療福祉行政論（2）	1
家族社会学	1	看護学概論	2
看護理論と看護実践への活用	1	看護過程論	1
家族看護論	1	看護倫理	1
医療リスクマネジメント論	1	基礎看護生活援助技術演習	2
基礎看護診療援助技術演習	2	看護コミュニケーション論	1
ヘルスアセスメント	2	基礎看護学実習（1）	1
基礎看護学実習（2）	2	地域・在宅看護学概論	2
地域包括ケア論	1	地域・在宅看護援助論（1）	2
地域・在宅看護援助論（2）	1	地域・在宅看護学実習	2
地域療養体験実習	1	グローバルヘルス看護学概論	2
グローバルヘルス看護援助論	1	成人看護学概論	2
急性期看護援助論	2	慢性期看護援助論	2
成人看護援助論	1	急性期看護学実習	3
慢性期看護学実習	3	小児看護学概論	2
小児看護援助論（1）	1	小児看護援助論（2）	1
小児看護学実習	2	母性看護学概論	2
母性看護援助論（1）	1	母性看護援助論（2）	1
母性看護学実習	2	高齢者看護学概論	2
高齢者看護援助論（1）	1	高齢者看護援助論（2）	1
高齢者看護学実習	3	精神看護学概論	2
精神看護援助論（1）	1	精神看護援助論（2）	1
精神看護学実習	2	災害看護論	1
感染症と社会	1	看護政策	1

看護管理学	1	チーム医療論	1
統合実習	2	看護研究方法と看護実践への活用	1
原著講読	1	卒業研究	2
公衆衛生看護支援論A（母子・成人・高齢者保健）	2	公衆衛生看護支援論B（精神・障害者・難病・感染症）	2
公衆衛生看護支援論C（学校保健・産業保健）	1	公衆衛生看護支援論D（地域診断・健康教育・地区組織活動）	2
公衆衛生看護活動展開論A（個人・家族・集団への保健指導）	1	公衆衛生看護活動展開論B（地域診断・健康教育の展開）	2
公衆衛生看護活動展開論C（公衆衛生看護活動の統合と展開）	1	公衆衛生看護管理論A（看護管理活動・健康危機管理）	1
公衆衛生看護管理論B（保健師活動の実践）	1	公衆衛生看護学実習（1）	3
公衆衛生看護学実習（2）	2		

4 各教科の指導法・教育の基礎的理解に関する科目等（中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状・栄養教諭一種免許状）

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
国語科指導法A	4	国語科指導法B	2
国語科指導法C	2	社会科・地理歴史科指導法A	2
社会科・地理歴史科指導法B	2	社会科・公民科指導法A	2
社会科・公民科指導法B	2	理科指導法A	4
理科指導法B	2	理科指導法C	2
音楽科指導法A	4	音楽科指導法B	2
音楽科指導法C	2	家庭科指導法A	4
家庭科指導法B	2	家庭科指導法C	2
英語科指導法A	4	英語科指導法B	2
英語科指導法C	2	書道科指導法	4
情報科指導法	4	福祉科指導法	4
教育社会学	2	特別支援教育の理論と方法	2
教育課程論	2	道徳教育の理論と方法	2
総合的な学習の時間の指導法	2	特別活動の指導法	2
教育の方法と技術（情報機器及び教材の活用を含む）	2	生徒・進路指導とキャリア教育の理論と方法	2
教育実習A	5	教育実習B	3
教職実践演習（中高）	2	教職実践演習（栄養教諭）	2

別表3 卒業に必要な最低修得単位数

学 部	学 科	共通教育科目	専門教育科目	卒業要件単位数
文学部	日本語日本文化学科	30	70	128
	英語英米文化学科	30	70	128
	外国語コミュニケーション学科	22	74	124
	音楽芸術学科	28	70	124
生活環境学部	生活マネジメント学科	30	70	128
	環境デザイン学科	30	70	128
	食環境栄養学科	30	95	128
国際情報学部	国際情報学科	30	72	124
	グローバルスタディーズコース メディアスタディーズコース			
人間科学部	現代子ども教育学科	30	70	128
	多元心理学科	30	72	128
	コミュニティ福祉学科	30	70	128
薬学部	薬学科	36	151	187
看護学部	看護学科	18	108	126

別表4 管理栄養士受験資格及び栄養士免許証授与の所要資格に必要な授業科目

区分	授業科目	規則単位		科目形態と単位数の 必修・選択の別			履修 方法			
		履修方法		形態	必修	選択				
		講義演習	実験実習							
専門 基礎 分野 科目	社会・環境と健康	社会保健学	6	10	講義	2				
	※公衆衛生学(1)	講義			2					
	※公衆衛生学(2)	講義			2					
	人体の構造と機能、疾病の成り立ち	※病原微生物学	14		講義	2				
		※解剖生理学(1)			講義	2				
		解剖生理学(2)			講義	2				
		※解剖生理学実験(1)			実験	1				
		解剖生理学実験(2)			実験	1				
		※病理学総論			講義	2				
		病理学各論			講義	2				
		※生化学(1)			講義	2				
		生化学(2)			講義	2				
		※生化学実験(1)			実験	1				
		生化学実験(2)			実験	1				
	食べ物と健康	※食品学(1)	8		講義	2				
		※食品学(2)			講義	2				
		※食品学実験(1)			実験	1				
		食品学実験(2)			実験	1				
		※食品衛生学			講義	2				
		※食品衛生学実験			実験	1				
		※調理学			講義	2				
		※調理学実習(1)			実習	1				
		※調理学実習(2)			実習	1				
		※調理学実習(3)			実習	1				
		小計 1			28	10		38	0	
	専門 分野 科目	基礎栄養学	※基礎栄養学		2	8	講義	2		
		※栄養学実習	実習				1			
		応用栄養学	※応用栄養学総論		6		講義	2		
※母子栄養学			講義	2						
※加齢栄養学			講義	2						
※応用栄養学実習			実習	1						
栄養教育論		※栄養教育原論	6	講義	2					
		※栄養教育各論		講義	2					
		※栄養教育論実習		実習	1					
		栄養カウンセリング論		講義	2					
栄養カウンセリング実習		実習	1							
臨床栄養学		※疾病別栄養管理論	8	講義	2					
		※臨床栄養学		講義	2					
		栄養アセスメント論		講義	2					
		臨床栄養管理論		講義	2					
		※疾病別栄養管理実習		実習	1					
		臨床栄養学実習		実習	1					
公衆栄養学	※公衆栄養学(1)	4	講義	2						
	公衆栄養学(2)		講義	2						
	※公衆栄養学実習		実習	1						
給食経営管理論	※給食経営管理論	4	講義	2						
	フードマネージメント論		講義	2						
	※給食経営管理実習		実習	1						
総合演習	栄養総合演習	2		演習	2					
臨地実習	※臨地実習		4	実習	4					
小計 2	32	12		44	0					
合計(小計 1+小計 2)	60	22		82	0					

※科目は栄養士免許の資格に必要な授業科目

別表5 管理栄養士国家試験受験及び栄養士免許申請に関する単位履修証明書

管理栄養士国家試験受験に関する単位履修証明書						
フリガナ						
氏名						
生年月日	昭和・平成 年 月 日生					
栄養士法施行令で定める教育内容	左記に対応する 本学開設授業科目	学則規定単位	本人履修単位			
専門基礎	社会・環境と健康	社会保健学	2			
		公衆衛生学（1）	2			
基礎分野科目	人体の構造と機能、疾病の成り立ち	公衆衛生学（2）	2			
		病原微生物学	2			
		解剖生理学（1）	2			
		解剖生理学（2）	2			
		解剖生理学実験（1）	1			
		解剖生理学実験（2）	1			
		病理学総論	2			
		病理学各論	2			
		生化学（1）	2			
		生化学（2）	2			
		生化学実験（1）	1			
		生化学実験（2）	1			
		専門分野科目	食べ物と健康	食品学（1）	2	
				食品学（2）	2	
食品学実験（1）	1					
食品学実験（2）	1					
食品衛生学	2					
食品衛生学実験	1					
調理学	2					
調理学実習（1）	1					
調理学実習（2）	1					
調理学実習（3）	1					
専門基礎	基礎栄養学	基礎栄養学	2			
		栄養学実習	1			
専門基礎	応用栄養学	応用栄養学総論	2			
		母子栄養学	2			
		加齢栄養学	2			
		応用栄養学実習	1			
専門基礎	栄養教育論	栄養教育原論	2			
		栄養教育各論	2			
		栄養教育論実習	1			
		栄養カウンセリング論	2			
		栄養カウンセリング実習	1			
専門基礎	臨床栄養学	疾病別栄養管理論	2			
		臨床栄養学	2			
		栄養アセスメント論	2			
		臨床栄養管理論	2			
		疾病別栄養管理実習	1			
		臨床栄養学実習	1			
専門基礎	公衆栄養学	公衆栄養学（1）	2			
		公衆栄養学（2）	2			
		公衆栄養学実習	1			
専門基礎	給食経営管理論	給食経営管理論	2			
		フードマネジメント論	2			
		給食経営管理実習	1			
専門基礎	総合演習	栄養総合演習	2			
専門基礎	臨地実習	臨地実習	4			

上記の者は、当大学において、管理栄養士受験資格に関する授業科目を履修し修得したことを証明する。

平成 年 月 日

所在地
大学名
大学代表者名

印

栄養士免許申請に関する単位履修証明書

フリガナ			
氏名			
生年月日	昭和・平成 年 月 日生		
栄養士法施行令で定める教育内容	左記に対応する 本学開設授業科目	学則規定単位	本人履修単位
社会生活と健康	公衆衛生学（１）	2	
	公衆衛生学（２）	2	
人体の構造と機能	病原微生物学	2	
	解剖生理学（１）	2	
	解剖生理学実験（１）	1	
	病理学総論	2	
	生化学（１）	2	
	生化学実験（１）	1	
食品と衛生	食品学（１）	2	
	食品学（２）	2	
	食品学実験（１）	1	
	食品衛生学	2	
	食品衛生学実験	1	
栄養と健康	基礎栄養学	2	
	栄養学実習	1	
	応用栄養学総論	2	
	母子栄養学	2	
	加齢栄養学	2	
	応用栄養学実習	1	
	疾病別栄養管理論	2	
	臨床栄養学	2	
疾病別栄養管理実習	1		
栄養の指導	栄養教育原論	2	
	栄養教育各論	2	
	栄養教育論実習	1	
	公衆栄養学（１）	2	
	公衆栄養学実習	1	
給食の運営	調理学	2	
	調理学実習（１）	1	
	調理学実習（２）	1	
	調理学実習（３）	1	
	給食経営管理論	2	
	給食経営管理実習	1	
	臨地実習	4	

上記の者は、当大学において、栄養士免許に関する授業科目を履修し修得したことを証明する。

平成 年 月 日

所在地
大学名
大学代表者名



別表6 社会福祉士指定科目と本学開講科目の関連

文部科学省令・厚生労働省令で定める 社会福祉に関する科目および時間数		左記に対応する本学開設授業科目、 開講学年および単位数と時間数				
科目	時間数	科目名	履修方法			時間数
			学年	必修 (単位数)	選択必修 (単位数)	
人体の構造と機能および疾病	30	医学概論	2・3		2	30
心理学理論と心理的支援	30	心理学概論	2		2	30
社会理論と社会システム	30	社会学概論	1		2	30
現代社会と福祉	60	社会福祉概論(1)	1	2		60
		社会福祉概論(2)	1	2		
社会調査の基礎	30	社会調査論	1	2		30
相談援助の基盤と専門職	60	相談援助の基盤と専門職	1	4		60
相談援助の理論と方法	120	社会福祉援助技術論(1)	1	2		120
		社会福祉援助技術論(2)	2	2		
		社会福祉援助技術論(3)	2	2		
		社会福祉援助技術論(4)	3	2		
地域福祉の理論と方法	60	地域福祉論(1)	2	2		60
		地域福祉論(2)	2	2		
福祉行財政と福祉計画	30	福祉行財政と福祉計画	4	2		30
福祉サービスの組織と経営	30	福祉サービスの組織と経営	4	2		30
社会保障	60	社会保障論	2	4		60
高齢者に対する支援と介護保険制度	60	老人福祉論	1	2		60
		介護福祉論	2	2		
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	30	障害者福祉論	2	2		30
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	30	児童福祉論	2	2		30
低所得者に対する支援と生活保護制度	30	公的扶助論	2	2		30
保健医療サービス	30	医療福祉論	3	2		30
就労支援サービス	15	就労支援サービス	2		2	30
権利擁護と成年後見制度	30	権利擁護と成年後見	3		2	30
更生保護制度	15	司法福祉	3		2	30
相談援助演習	150	相談援助演習(1)	2	1		150
		相談援助演習(2)	2	1		
		相談援助演習(3)	3	1		
		相談援助演習(4)	3	1		
		相談援助演習(5)	4	1		
相談援助実習指導	90	相談援助実習指導(1)	2	2		120
		相談援助実習指導(2)	2	2		
		相談援助実習指導(3)	3	2		
		相談援助実習指導(4)	3	2		
相談援助実習	180	相談援助実習	3	2		180

別表7 精神保健福祉士指定科目と本学開講科目の関連

文部科学省令・厚生労働省令で定める 精神保健福祉に関する科目および時間数		左記に対応する本学開設授業科目、 開講学年および単位数と時間数			
科目	時間数	科目名	履修方法		時間数
			必修 (単位数)	選択 必修 (単位数)	
人体の構造と機能および疾病	30	医学概論（人体の構造と機能及び疾病）		2	30
心理学理論と心理的支援	30	心理学概論		2	30
社会理論と社会システム	30	社会学概論		2	30
現代社会と福祉	60	社会福祉概論（1）	2		30
		社会福祉概論（2）	2		30
地域福祉の理論と方法	60	地域福祉論（1）	2		30
		地域福祉論（2）	2		30
社会保障	60	社会保障論	4		60
低所得者に対する支援と生活保護制度	30	公的扶助論	2		30
福祉行財政と福祉計画	30	福祉行財政と福祉計画	2		30
保健医療サービス	30	医療福祉論	2		30
権利擁護と成年後見制度	30	権利擁護と成年後見	2		30
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	30	障害者福祉論	2		30
精神疾患とその治療	60	精神疾患とその治療（1）	2		30
		精神疾患とその治療（2）	2		30
精神保健の課題と支援	60	精神保健の課題と支援（1）	2		30
		精神保健の課題と支援（2）	2		30
精神保健福祉相談援助の基礎（基礎）	30	相談援助の基盤と専門職	4		60
精神保健福祉相談援助の基礎（専門）	30	精神科ソーシャルワーク論	2		30
精神保健福祉の理論と相談援助の展開	120	精神保健福祉の理論と相談援助の展開A	2		30
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開B	2		30
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開C	2		30
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開D	2		30
精神保健福祉に関する制度とサービス	60	精神保健福祉に関する制度とサービス（1）（関係行政論）	2		30
		精神保健福祉に関する制度とサービス（2）	2		30
精神障害者の生活支援システム	30	精神障害者の生活支援システム	2		30
精神保健福祉援助演習（基礎）	30	精神保健福祉援助演習（1）	1		30
精神保健福祉援助演習（専門）	60	精神保健福祉援助演習（2）	1		30
		精神保健福祉援助演習（3）	1		30
精神保健福祉援助実習指導	90	精神保健福祉援助実習事前指導	1		30
		精神保健福祉援助実習事後指導（1）	1		30
		精神保健福祉援助実習事後指導（2）	1		30
精神保健福祉援助実習	210	精神保健福祉援助実習	3		210

別記

学則第 36 条による検定料

入学検定料	35,000 円
-------	----------

学則第 37 条による入学金

入学金	200,000 円
-----	-----------

学則第 54 条による学納金

2022 年度入学者より適用

学 部 ・ 学 科 名 称		授 業 料 (年 額)	施 設 設 備 費 (年 額)	備 考
文学部	日本語日本文化学科	740,000 円	380,000 円	
	英語英米文化学科	740,000 円	380,000 円	
	外国語コミュニケーション学科	740,000 円	380,000 円	
	音楽芸術学科	1,270,000 円	380,000 円	
生活環境学部	生活マネジメント学科	740,000 円	380,000 円	
	環境デザイン学科	780,000 円	380,000 円	
	食環境栄養学科	780,000 円	380,000 円	
国際情報学部	国際情報学科	760,000 円	380,000 円	
	グローバルスタディーズコース			
	メディアスタディーズコース			
人間科学部	現代子ども教育学科	740,000 円	380,000 円	
	多元心理学科	740,000 円	380,000 円	
	コミュニティ福祉学科	740,000 円	380,000 円	
薬学部	薬学科	1,600,000 円	380,000 円	
看護学部	看護学科	1,320,000 円	380,000 円	

金城学院大学看護学部教授会規程（案）

（ 年 月 日制定）

（設置）

第1条 金城学院大学看護学部（以下「本学部」という。）に教授会を置く。

（構成）

第2条 教授会は、本学部の教授、准教授及び専任講師をもって組織する。

（審議事項）

第3条 教授会は、次の各号に掲げる事項について審議する。

- （1） 学則の改正並びに学部諸規則の制定及び改廃に関する事項
- （2） 教育課程に関する事項
- （3） 教員の人事に関する事項
- （4） 学生の入学、再入学、退学、休学、復学、編入学、転学部、転学科、留学、賞罰及び除籍等に関する事項
- （5） 学生の試験、単位認定、進級、卒業及び学位授与に関する事項
- （6） 科目等履修生、聴講生、特別聴講学生及び外国人留学生の取り扱いに関する事項
- （7） 教育研究に関する事項
- （8） 役職者並びに全学及び本学部の委員会委員の選出に関する事項
- （9） 予算に関する事項
- （10） その他、教授会が必要と認める事項

（開催）

第4条 教授会は、定例教授会と臨時教授会とする。

2 定例教授会は、原則として毎月第2水曜日に開催する。

3 臨時教授会は、学部長が必要と認めるとき、学部長の定める期日に開催する。

（招集）

第5条 教授会は、学部長が招集する。

2 教授会構成員の3分の1以上の要求があるときは、学部長は教授会を招集しなければならない。

3 教授会招集の通知は、原則として開催日の1週間前までに行うものとする。

（議長）

第6条 学部長は、教授会の議長を務める。

2 学部長に事故あるときは、あらかじめ学部長が指名した者が議長の職務を代行する。

（定足数）

第7条 教授会は、構成員の3分の2以上の出席がなければ議事を扱うことができない。ただし、専任教員の採用人事の審議に関しては、構成員の4分の3以上の出席がなければ議事を扱うことができない。

2 特別研究期間、公務出張及び休職等の者については、教授会の了承を経て、それぞれの期間、教授会の構成員数から除くものとする。

（議題）

第8条 教授会上程する議題は、教授会の前日までに全構成員に通知するものとする。ただし、緊急やむをえない場合は、学部長は、教授会の議を経て、臨時に議題を付議することができる。

2 構成員が議題を提案しようとするときは、3名以上の連名で教授会の5日前までに学部長に提出しなければならない。

（議決）

第9条 教授会の議決は、出席者の過半数の賛成により、これを決定する。可否同数のときは、議長が可否を決定する。

2 前項の規定にかかわらず、専任教員の採用人事案件及び教授会が特に必要と認める事項については、出席者の3分の2以上の賛成により、これを決定する。

3 議決は、原則として、専任教員の採用人事案件等は無記名投票により、その他は挙手によるものとする。

（選挙）

第10条 役職者及び各種委員会委員の選出の選挙に関する規程は、これを別に定める。

（陪席者）

第11条 特別契約教員及び短期契約外国語教員は、教授会に陪席することができる。

2 教授会が必要と認めるときは、構成員以外の関係教職員を陪席させることができる。

（委員会）

第12条 教授会に学部の運営に必要な各種の委員会を置く。

2 前項の委員会に関する規程は、これを別に定める。

(学科会議)

第13条 学科には、学科内の連絡調整のために学科会議を置く。

2 学科会議は、学科主任が招集する。

(議事録)

第14条 教授会に書記を置き、事務職員をもってこれにあてる。

2 書記は、教授会の議事の記録を担当する。

3 学部長は、教授会記録を校閲し、原則として次回定例教授会においてその確認を得るものとする。

(所掌事務)

第15条 教授会に関する事務は、本学部事務室がこれを行う。

(規程の改廃)

第16条 この規程の改廃は、教授会の審議に基づき、常任理事会の議決を経てこれを行う。

附 則 (年 月 日常任理事会)

この規程は、 年 月 日から施行する。